

転出者・転入者 アンケート報告書

付 益子町移住定住促進住まいづくり奨励金対象者アンケート結果

平成 30 年 7 月

益子町 総務部 企画課

- ◆目的 本町では平成 13 年以降、人口減少が続いていますが（益子町統計書による。益子町人口ビジョンでは、5 年毎の国勢調査ベースのため、人口のピークを平成 12 年としている。）、数的な把握・転出先については既存資料（住民基本台帳）の分析である程度可能ですが、原因や理由に関する客観的な情報・データはありませんでした。
そこで、本アンケートは、転出者・転入者の状況を把握し、次期総合計画を含む今後の町政運営、本町への定住促進のための施策の基礎資料等として活用するために実施しました。

- ◆調査対象 平成 28 年 1 月 1 日～平成 30 年 4 月 30 日までの転出入世帯の代表者（日本人のみで、大学進学、結婚等による世帯の一部転出入者を含む。なお、転出入先が施設（介護施設、福祉施設等）である者、15 歳以下の者は除く。）

- ◆対象数 転出者 1,061 人 | 転入者 564 人

- ◆調査期間 平成 30 年 5 月 24 日～6 月 8 日

- ◆回収数 転出者 274 人（25.8%） | 転入者 174 人（30.9%）

- ◆その他 （１）回答実数は原則上記「回収数」となりますが、異なる場合は設問ごとに記載しています。

 （２）本文中の「百分率」は小数点第 2 位を四捨五入、または複数回答のため、数値の合計が 100 にならない場合があります。

 （３）本報告書では、次のように集計・定義をしています。
 ①「世代区分」は、回答者（世帯代表者）の属する世代で区分しました。
 ②「子育て世帯」は、「17 歳までの者を含む世帯」としました。

 （４）人口動態の参考資料として、地域経済分析システム（以下「RESAS」（リーサス））のデータを掲出しています。RESAS とは、地方創生の様々な取り組みを情報面から支援するために、経済産業省と内閣官房が提供している産業構造や人口動態、人の流れなど官民ビッグデータを集約し、可視化するシステムです。

 （５）本町で住宅を取得した方に平成 28 年度から「益子町移住定住促進住まいづくり奨励金」を交付していますが、本奨励金対象者にもアンケートを行っていますので、平成 28～29 年度の結果についても併せて公表します。

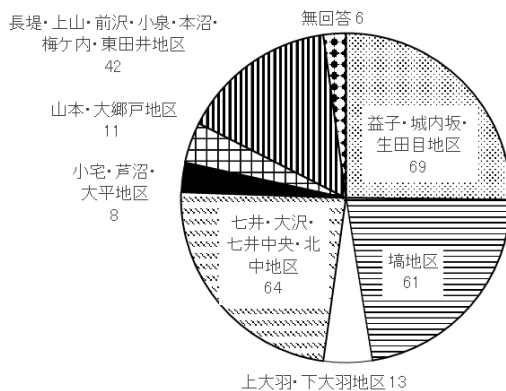
転出者アンケート

1 回答者の属性

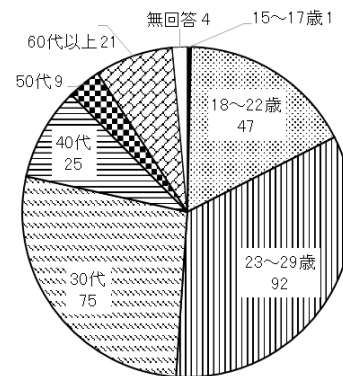
回答者のうち、本町からの転出が最も多かったのは、宇都宮市となり、次いで真岡市となっています。RESAS「From-to 分析(定住人口)2016 年」によると、転出超過数の上位 3 市町村は、真岡市 41 人、宇都宮市 35 人、上三川町 11 人と県内市町となっています。

なお、平成 30 年度に策定した「益子町移住・定住推進計画」では、移住・定住関連事業のターゲットを「本町の近隣地域の事業所に勤務する子育て世帯」としていますが、その対象を含む子育て世帯からの回答は、38 件ありました。

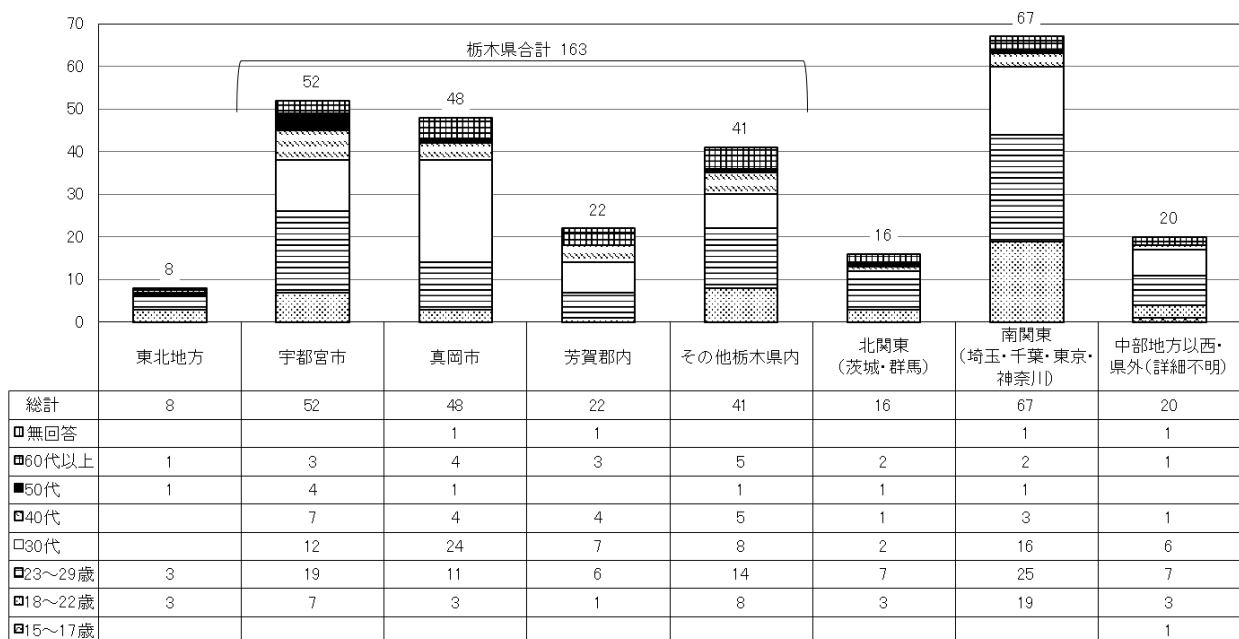
図表 1 回答者の益子町内での住まい（問 1）



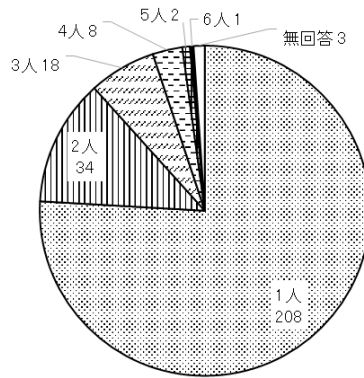
図表 2 回答者の世代（問 3）



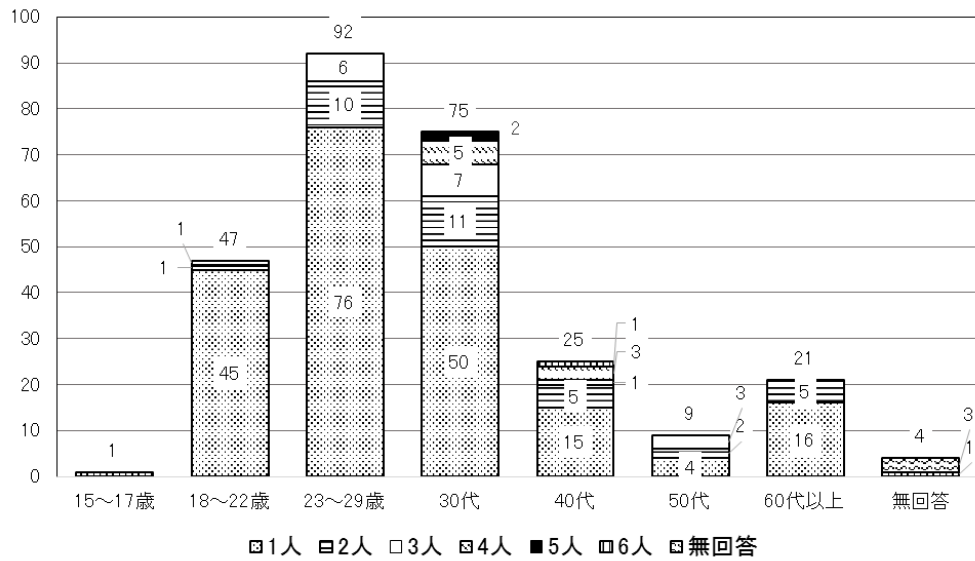
図表 3 引っ越し先の住所（問 2）



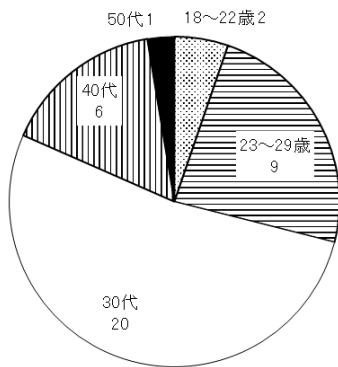
図表 4 回答者の家族構成（問 3）



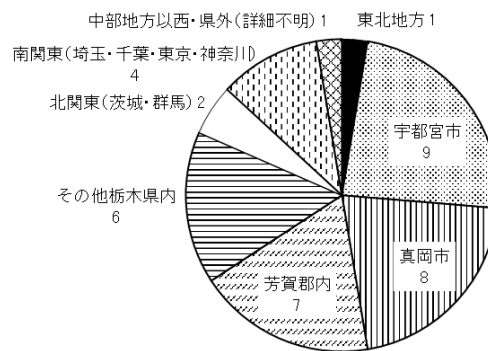
図表 5 回答者の家族構成（世代別）（問 3）



図表 6 子育て世帯の内訳（問 2 該当 38）



図表 7 子育て世帯の引っ越し先（問 2・問 3 該当 38）



図表 8 転出超過数

	2010年(H22)	2011年(H23)	2012年(H24)	2013年(H25)	2014年(H26)	2015年(H27)	2016年(H28)
1 真岡市	40	芳賀町 19	真岡市 31	宇都宮市 28	宇都宮市 42	宇都宮市 57	真岡市 41
2 小山市	16	宇都宮市 13	宇都宮市 27	小山市 22	市貝町 34	市貝町 26	宇都宮市 35
3 下野市	15	壬生町 12	小山市 24	真岡市 19	真岡市 33	芳賀町 15	上三川町 11
4 市貝町	11	上三川町 12	芳賀町 16	上三川町 18		下野市 12	芳賀町 3
5 日光市	11	小山市 12	栃木市 11	鹿沼市 12		大田原市 11	
その他	92	67	69	56	43	103	105
合計	185	合計 135	合計 178	合計 155	合計 152	合計 224	合計 195

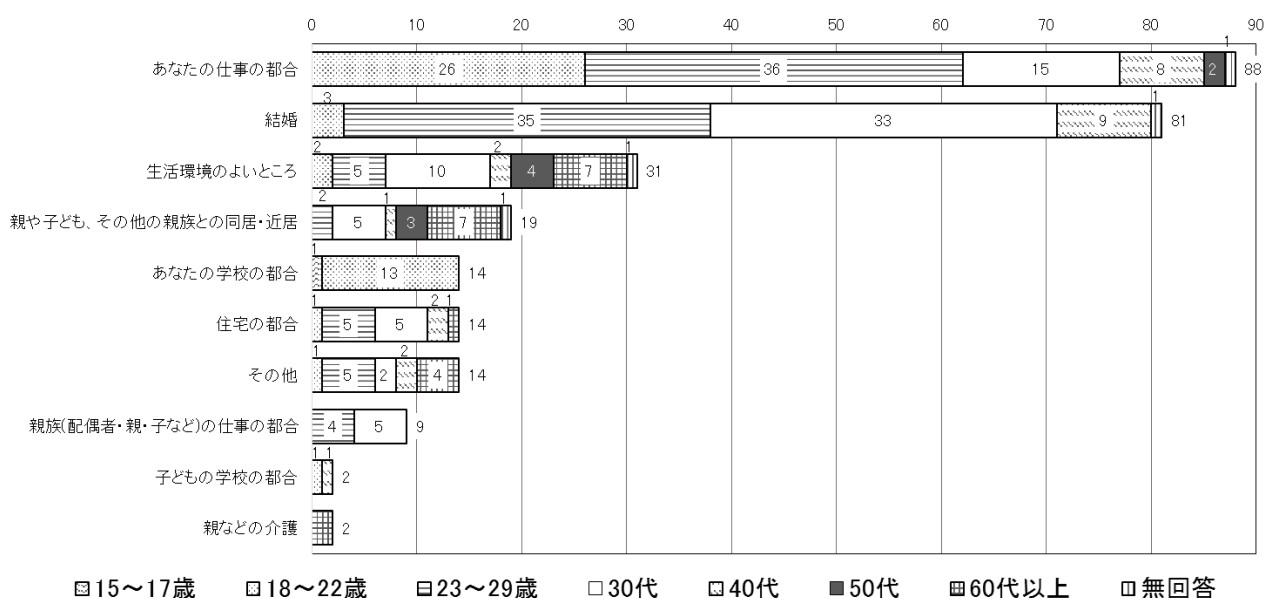
出所 RESAS「From-to 分析（定住人口）」（総務省「住民基本台帳人口移動報告」）

2 引っ越しすることとなった最も大きなきっかけについて

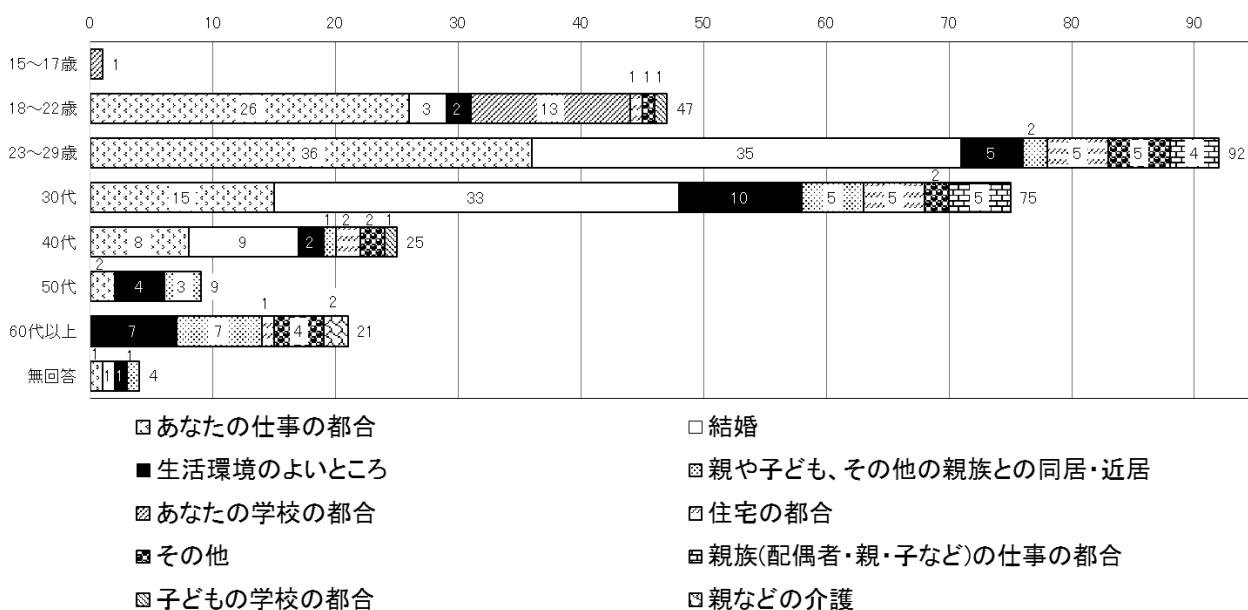
引っ越しの最も大きなきっかけは、「あなたの仕事の都合」となり、「親族の仕事の都合」を合わせると、35.4%(97件)となりました。次いで「結婚」(29.6% | 81件)、「生活環境のよいところ」(11.3% | 31件)となりました。

また、子育て世帯では、外的要因(仕事・学校の都合。その他を含む。)以外の事由により引っ越した割合は、52.6%(20件)となっています。

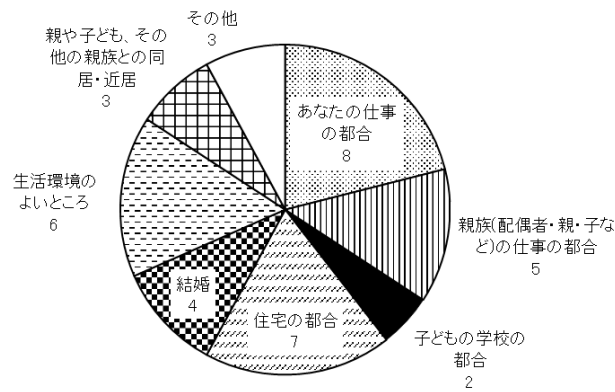
図表 9 引っ越しの最も大きなきっかけ（事由別）（問 4）



図表 10 引っ越しの最も大きなきっかけ（世代別）（問 4）



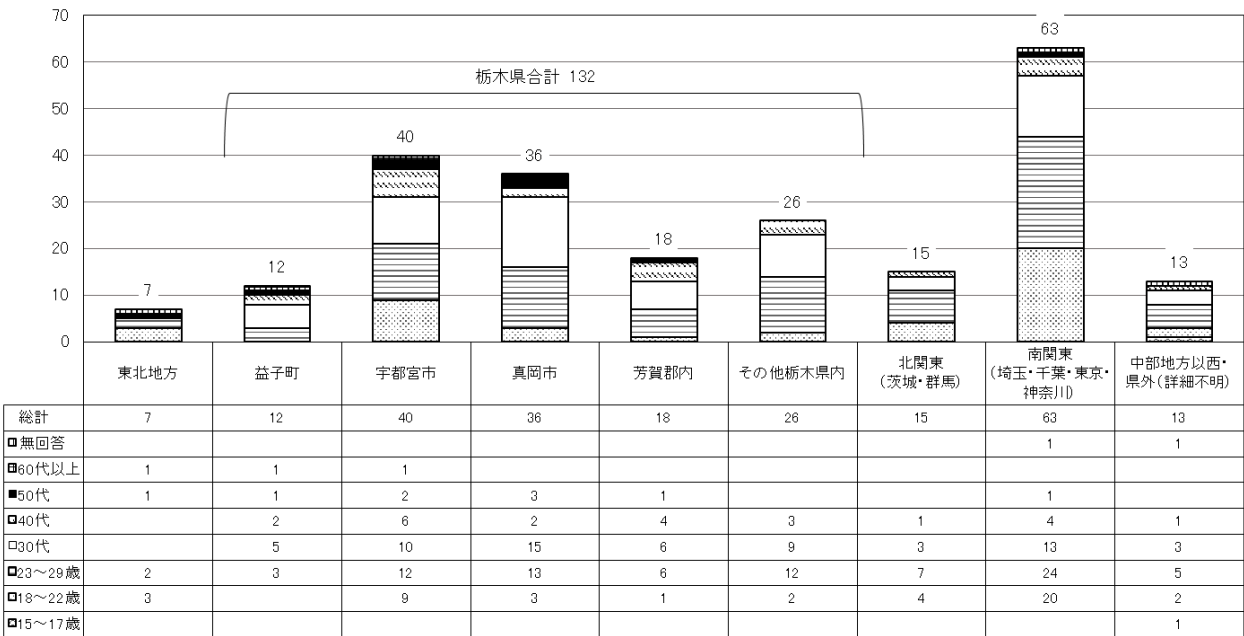
図表 11 引っ越しの最も大きなきっかけ（子育て世帯）（問 4 該当 38）



3 現在の通勤・通学先について

現在の通勤・通学先では、栃木県内が 132 件(本町 12 件、宇都宮市 40 件、真岡市 36 件等)、南関東 63 件となっています。本町への勤務者 12 件の世帯構成は 1 人:6 件、2 人:3 件、3 人:3 件(うち、子育て世帯 2 件)となっています。

図表 12 現在の通勤・通学先（問 5 回答実数 230）

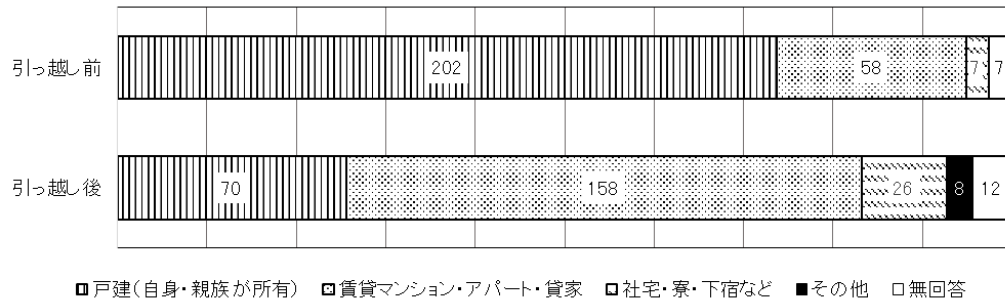


4 引っ越し前後の住まいの形態について

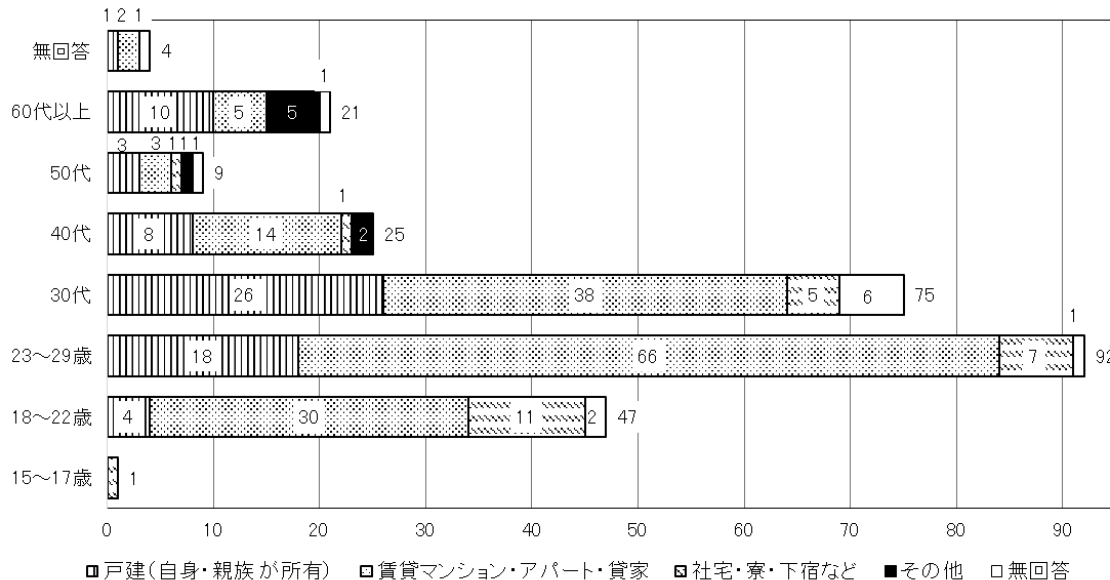
引っ越し前後の住まいの形態について、引っ越し前は戸建、引っ越し後は賃貸物件が多い結果となっていますが、単身者の「あなたの仕事の都合」(53 件)及び「結婚」(49 件)が主な理由となります。

子育て世帯の引っ越し後の住まいの形態は、52.6%(20 件)が戸建となりました。

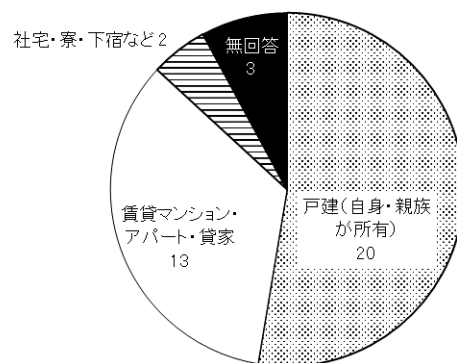
図表 13 引っ越し前後の住まいの形態（問 6）



図表 14 引っ越し後の住まいの形態（世代別）（問 6）



図表 15 引っ越し後の住まいの形態（子育て世帯）（問 6 該当 38）



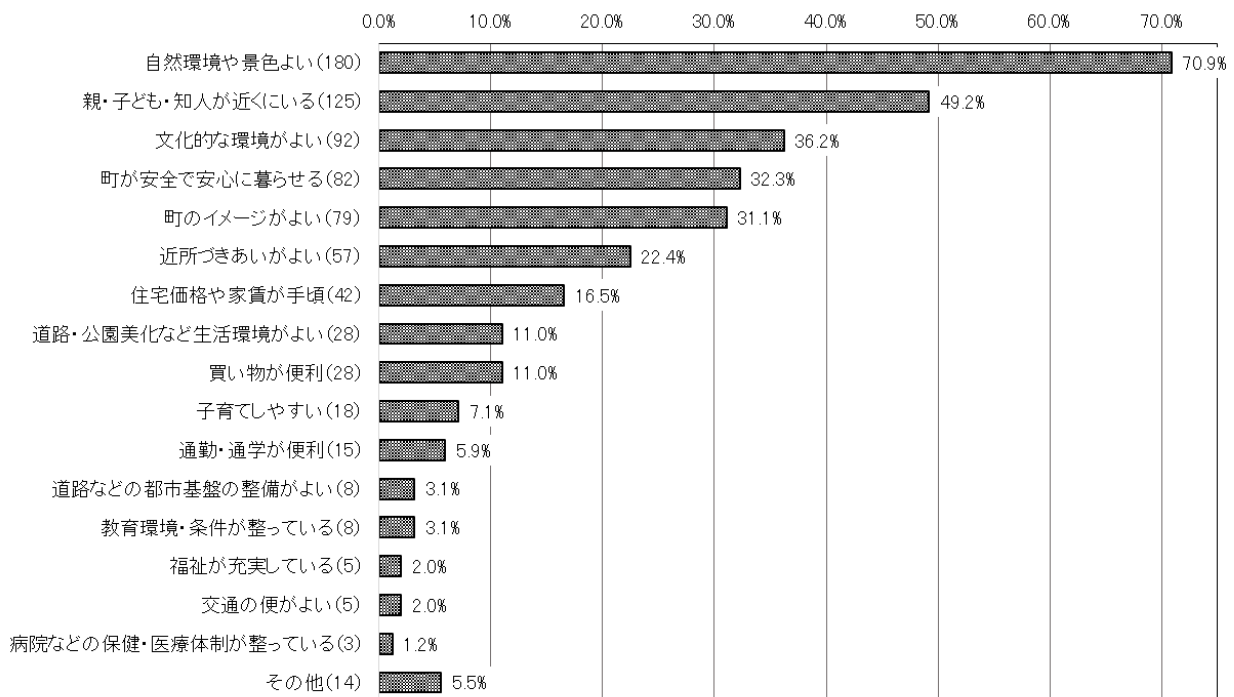
5 益子町の魅力・不満な点について

本町の魅力については、「自然環境や景色よい」が最も多く、以下、「親・子ども・知人が近くにいる」「文化的な環境がよい」「町が安全で安心に暮らせる」「町のイメージがよい」と続きました。

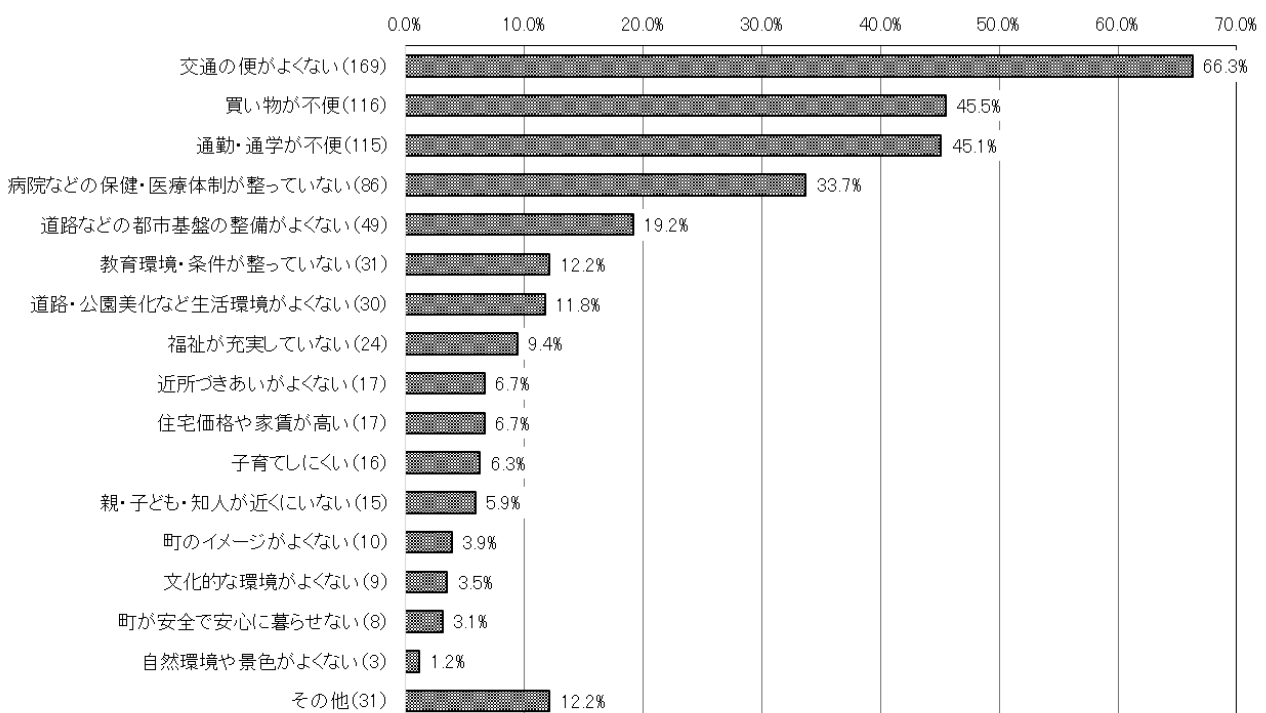
また、本町の不満な点については、「交通の便がよいくない」が最も多く、以下、「買い物不便」「通勤・通学が不便」「病院などの保健・医療体制が整っていない」「道路などの都市基盤の整備がよいくない」と続きました。

なお、自由記述については、巻末をご覧ください。

図表 16 益子町の魅力（問 5 回答実数 254 複数回答）



図表 17 益子町の不満な点（問 5 回答実数 255 複数回答）

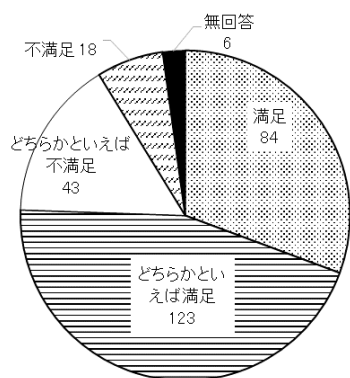


6 益子町に住んでの満足度などについて

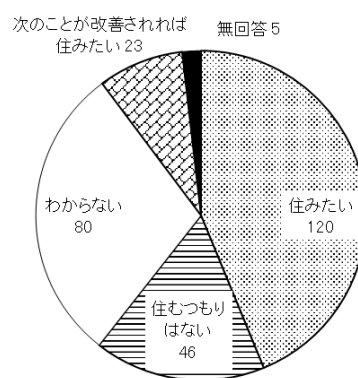
益子町に住んでの満足度(「満足」+「どちらかといえば満足」)は、75.5%(207 件)となりました。

また、再び本町に住みたいかという質問には、「住みたい」が43.8%(120 件)が最も多い回答となりました。子育て世帯で見ると、「住みたい」は47.4%(18 件)とほぼ同程度の回答となりました。なお、「次のことが改善されれば住みたい」の自由記述では、「買い物の不便さ」「子育て支援」「道路・歩道等の都市基盤の整備」に関する記述がありました(自由記述については、巻末をご覧ください)。

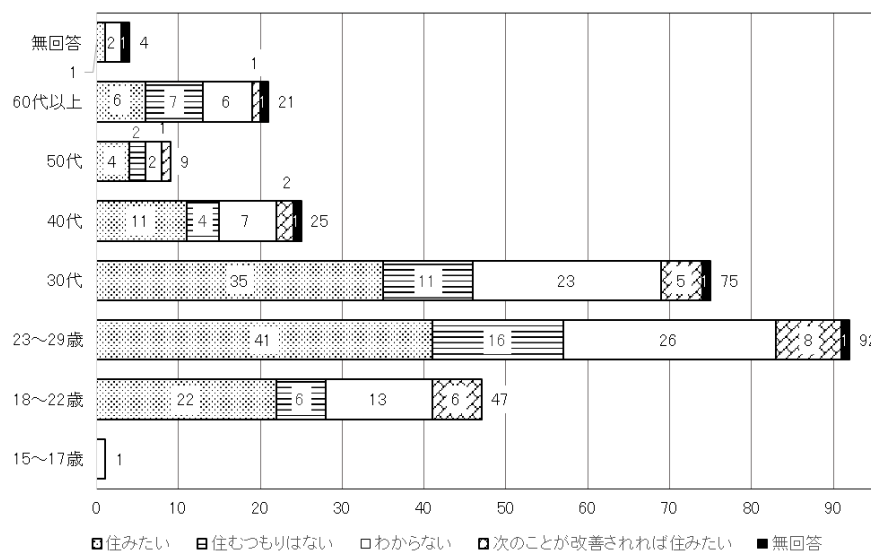
図表 18 益子町に住んでの満足度 (問 9)



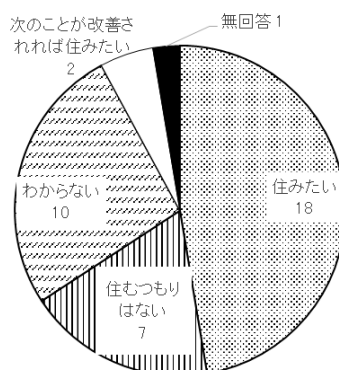
図表 19 再居住の意向 (問 10)



図表 20 再居住の意向 (世代別) (問 10)



図表 21 再居住の意向 (子育て世帯) (問 10 該当 38)

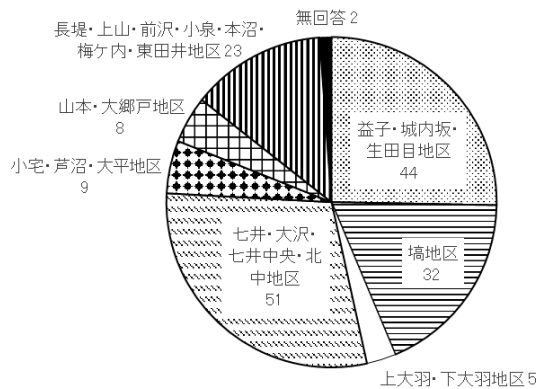


転入者アンケート

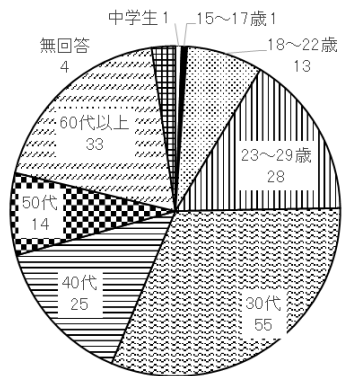
1 回答者の属性

回答者のうち、本町への転入で最も多かったのは、宇都宮市となり、次いで真岡市となっています。
RESAS「From-to 分析(定住人口)2016 年」によると、転入超過数の上位 3 市町村は、市貝町 25 人、日光市 11 人、茂木町 7 人と県内市町となっています。
なお、子育て世帯からの回答は、34 件ありました。

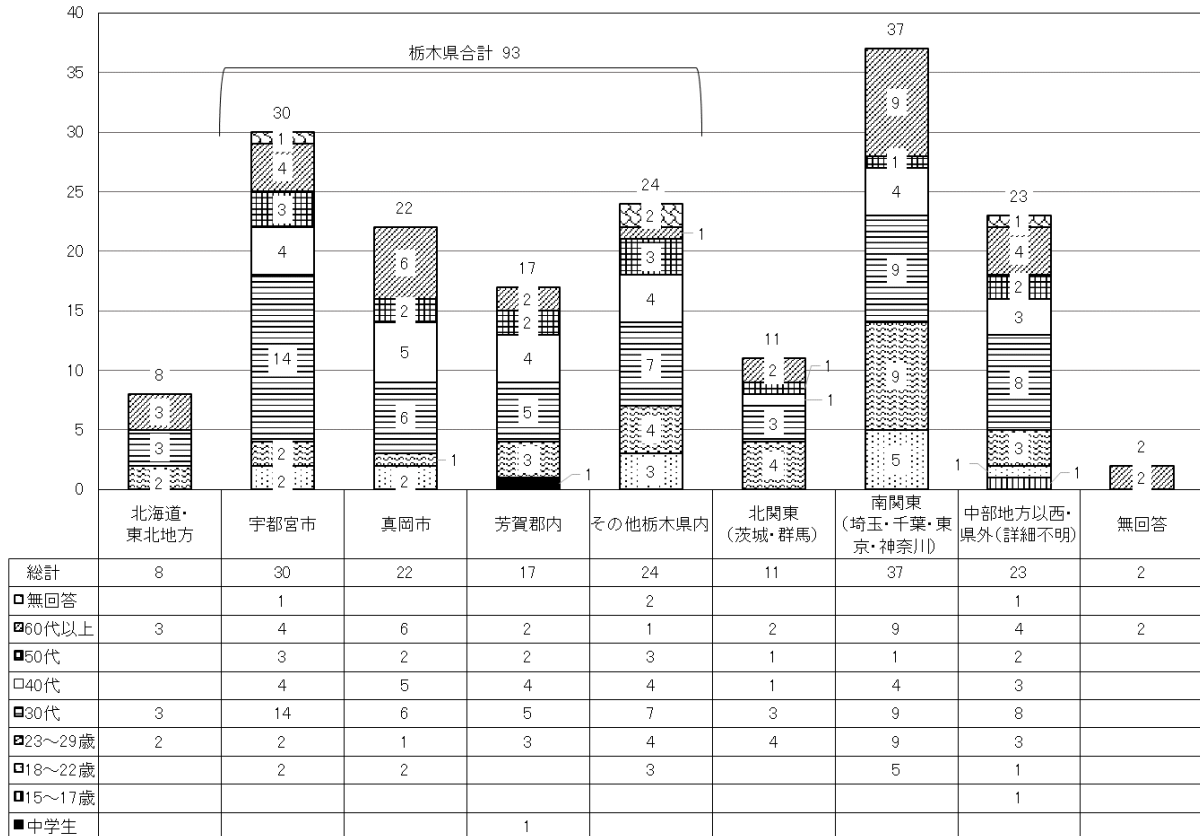
図表 22 回答者の益子町内での住まい（問 1）



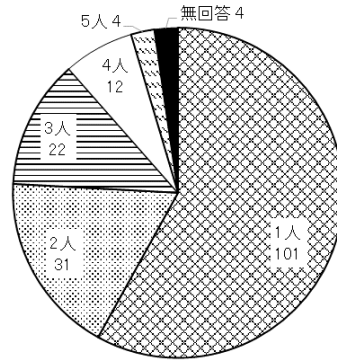
図表 23 回答者の世代（問 3）



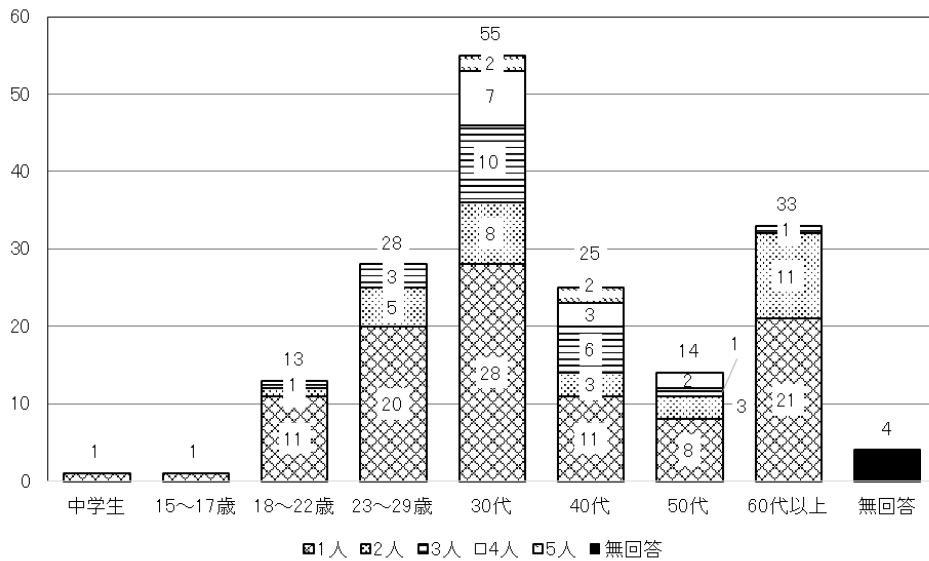
図表 24 引っ越し前の住所（問 2）



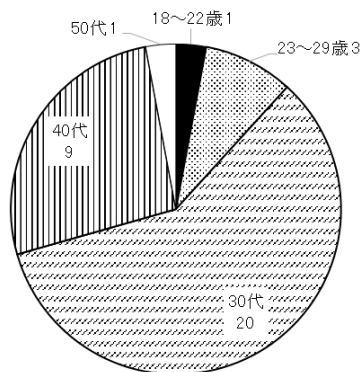
図表 25 回答者の家族構成（問 3）



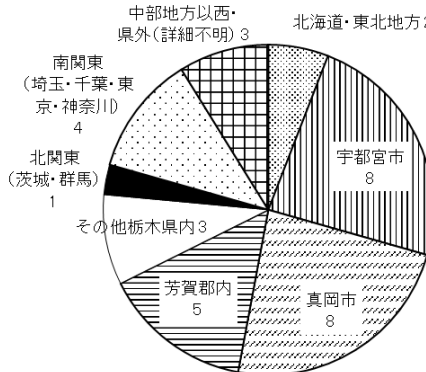
図表 26 回答者の家族構成（世代別）（問 3）



図表 27 子育て世帯の内訳（問 2 該当 34）



図表 28 子育て世帯の引っ越し前（問 2・問 3 該当 34）



図表 29 転入超過数

	2010年(H22)	2011年(H23)	2012年(H24)	2013年(H25)	2014年(H26)	2015年(H27)	2016年(H28)
1 茂木町	25	茂木町 35	茂木町 17	茂木町 14	芳賀町 16	日光市 11	市貝町 25
2 高根沢町	17	真岡市 20	高根沢町 11	市貝町 12	那須烏山市 15	茂木町 4	日光市 11
3 上三川町	11	高根沢町 16	日光市 11	筑西市 11	茂木町 14		茂木町 7
4 芳賀町	9	佐野市 11	鹿沼市 11	芳賀町 3	さくら市 10		
5		練馬区 10	筑西市 10		日光市 10		
その他	5	69	37	6	66	43	13
合計	67	合計 161	合計 97	合計 46	合計 131	合計 58	合計 56

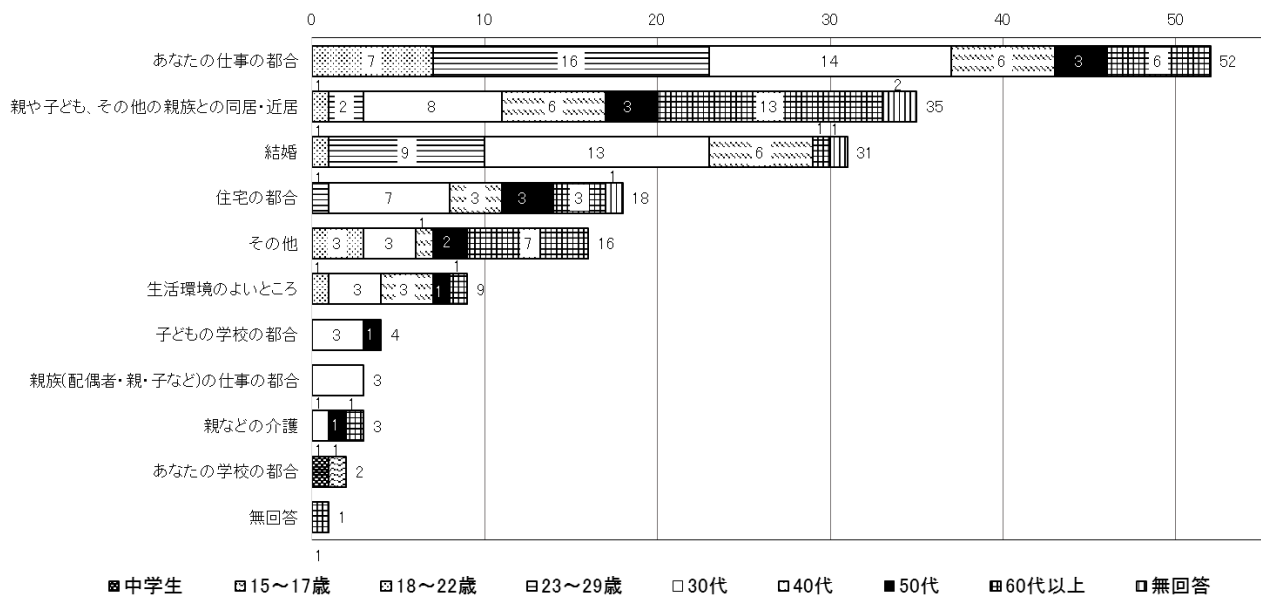
出所 RESAS「From-to 分析（定住人口）」（総務省「住民基本台帳人口移動報告」）

2 引っ越しすることとなった最も大きなきっかけについて

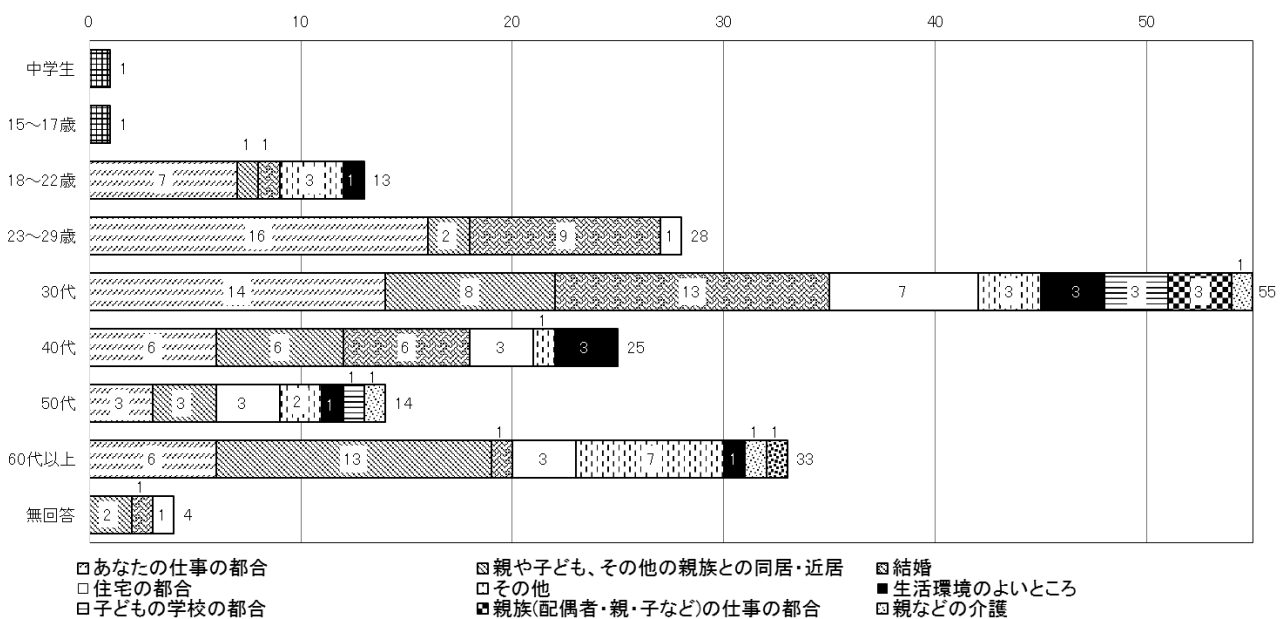
引っ越しの最も大きなきっかけは、「あなたの仕事の都合」となり、「親族の仕事の都合」を合わせると、31.6%(55件)となりました。次いで「親族との同居・近居」(20.1% | 35件)、「結婚」(17.8% | 31件)となりました。

また、子育て世帯では、外的要因(仕事・学校の都合。その他を含む。)以外の事由により引っ越した割合は、58.8%(20件)となっています。

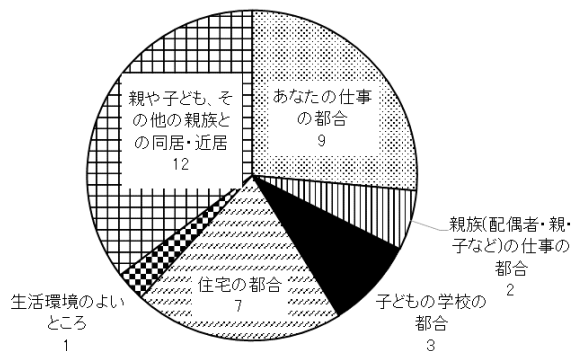
図表 30 引っ越しの最も大きなきっかけ（事由別）（問 4）



図表 31 引っ越しの最も大きなきっかけ（世代別）（問 4）



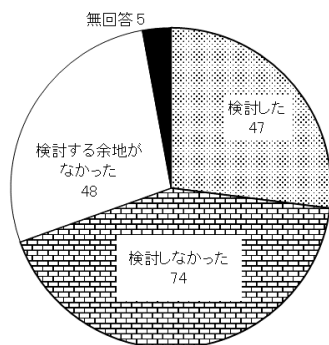
図表 32 引っ越しの最も大きなきっかけ（子育て世帯）（問 4 該当 34）



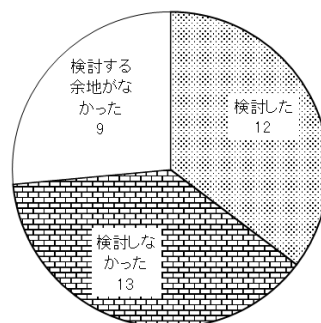
3 引っ越し先の検討について

今回の引っ越しにあたって、他市町村への引っ越しも検討したかという問いについては、「検討しなかった」(42.5% | 74 件)が最多となりました。世代別で見ると、30 代では「検討する余地がなかった」(36.4% | 20 件/55 件)となっていますが、「結婚」(10 件)が主な理由となっています。

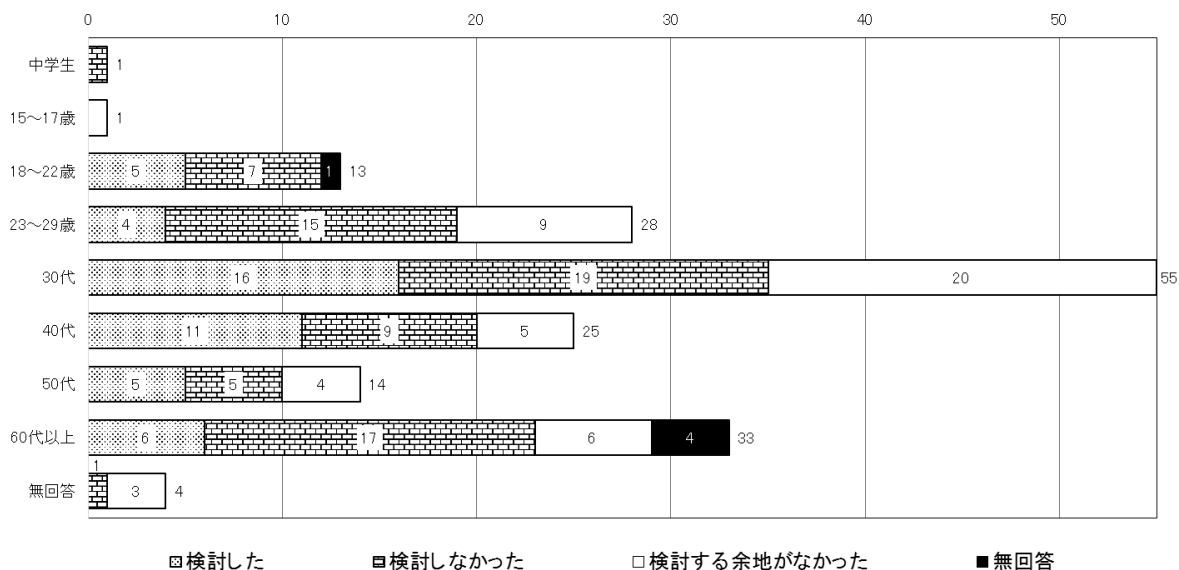
図表 33 引っ越し先の検討（問 5）



図表 34 引っ越し先の検討（子育て世帯）（問 5 回答実数 34）



図表 35 引っ越し先の検討（世代別）（問 5）

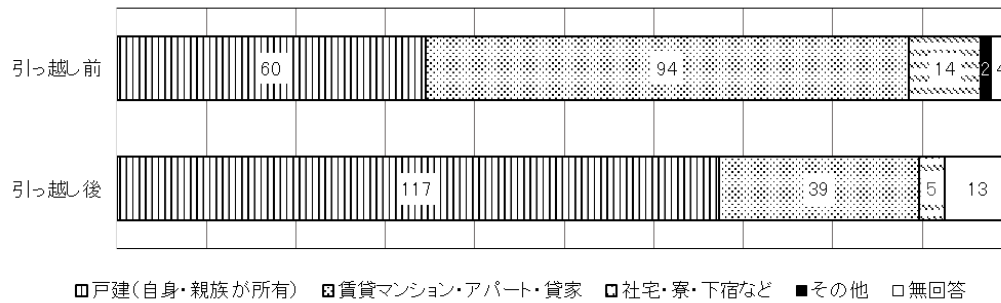


4 引っ越し前後の住まいの形態について

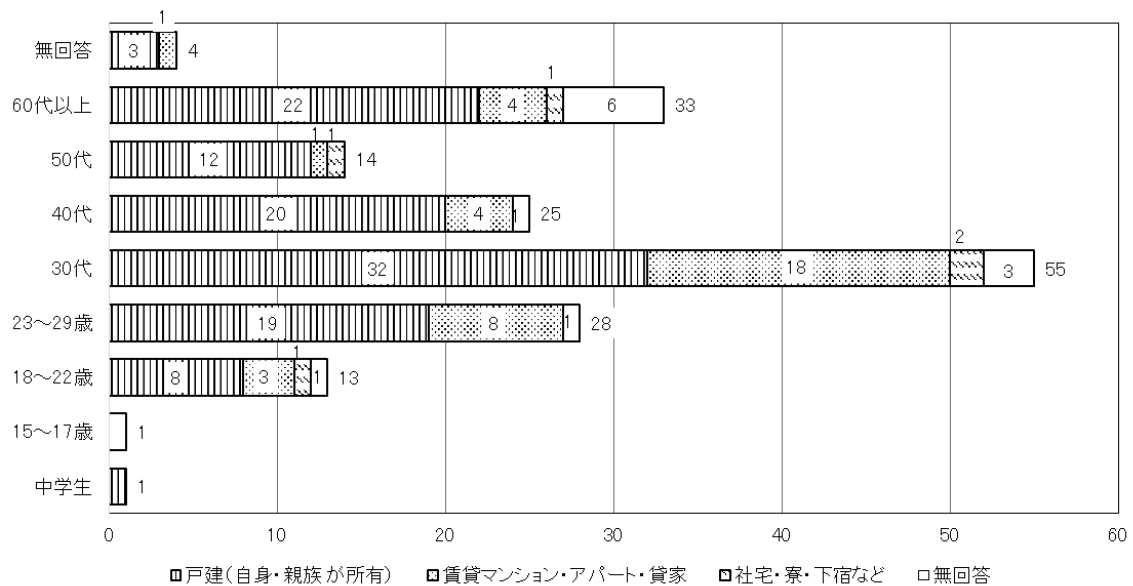
引っ越し前後の住まいの形態について、引っ越し前は賃貸物件、引っ越し後は戸建へと住み替えが多い結果となりました。主な理由は「親族との同居」(29 件)、「あなたの仕事の都合」(28 件)、「結婚」(21 件)となっています。

子育て世帯の引っ越し後の住まいの形態は、70.6%(24 件)が戸建となりました。

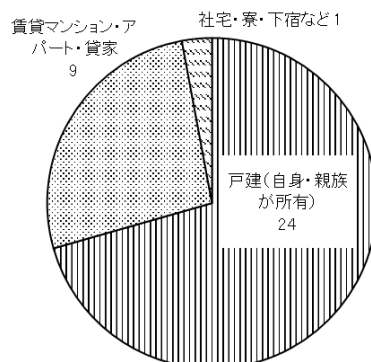
図表 36 引っ越し前後の住まいの形態（問 6）



図表 37 引っ越し後の住まいの形態（世代別）（問 6）



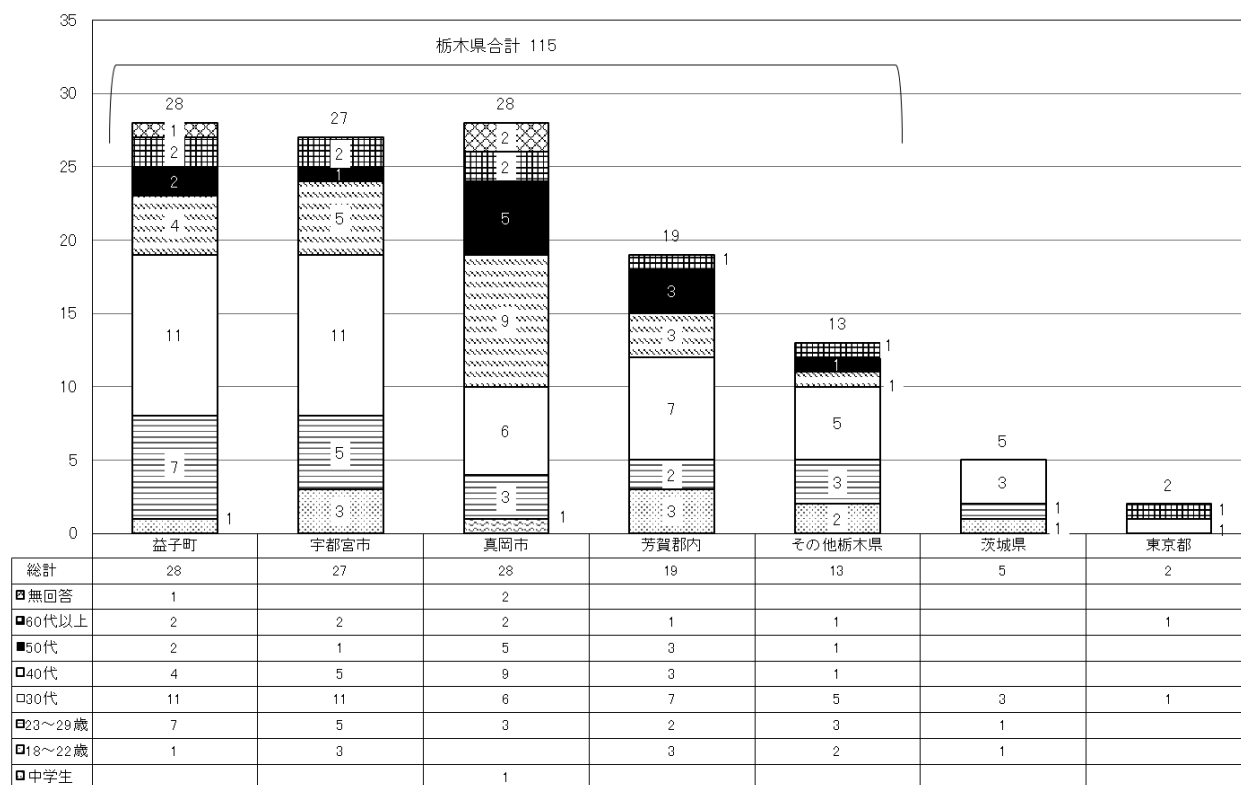
図表 38 引っ越し後の住まいの形態（子育て世帯）（問 6 該当 34）



5 現在の通勤・通学先について

現在の通勤・通学先では、栃木県内が115件(本町28件、宇都宮市27件、真岡市28件、芳賀郡内19件、その他13件)、茨城県5件、東京都2件となっています。

図表 39 現在の通勤・通学先 (問7 回答実数 122)

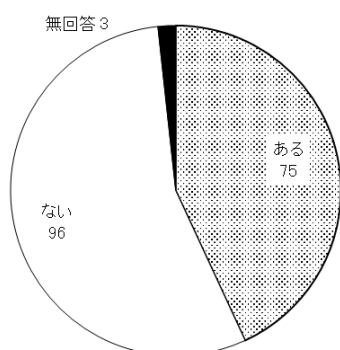


6 過去の益子町での居住等について

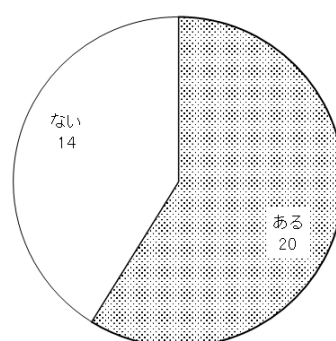
本町での過去の居住実績について、55.2%(96件)が「ない」と答えました。主な理由は、「結婚」(28件)、「あなたの仕事の都合」(27件)となっています。

子育て世帯の「ない」と答えた方の引っ越しの主なきっかけは、「あなたの仕事」(5件)、「住宅の都合」(4件)、「親族との同居・近居」(4件)となっています。

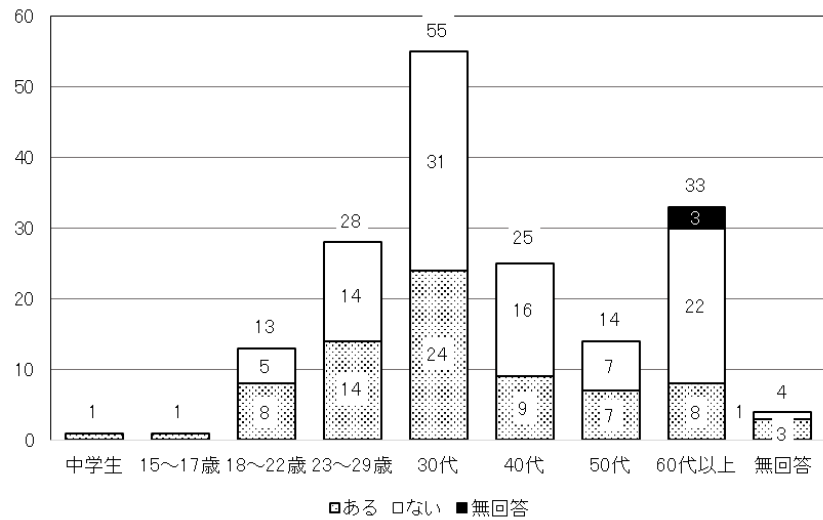
図表 40 過去の益子町での居住実績 (問8)



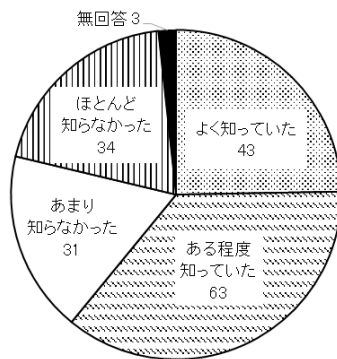
図表 41 過去の益子町での居住実績
(子育て世帯) (問8 回答実数 34)



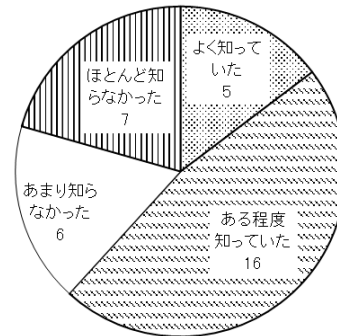
図表 42 過去の益子町での居住実績（世代別）（問 8）



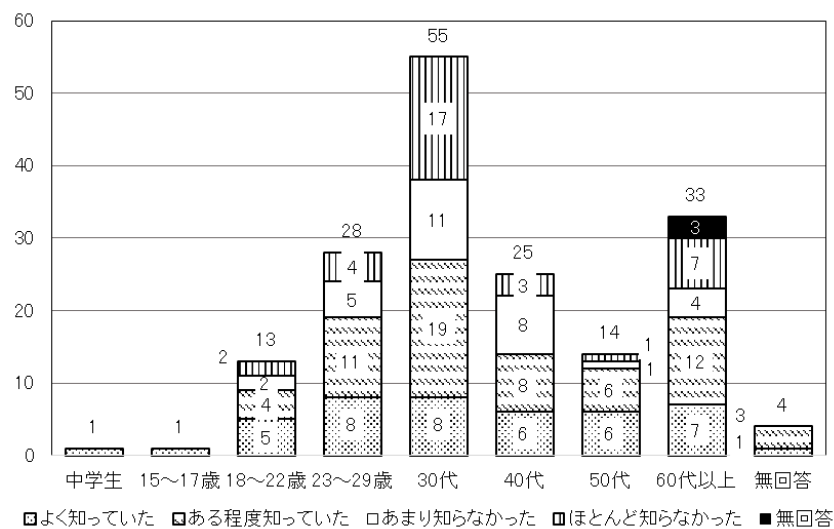
図表 43 益子町の認知について（問 9）



図表 44 益子町の認知について（問 9）
（子育て世帯 該当 34）



図表 45 益子町の認知について（世代別）（問 9）



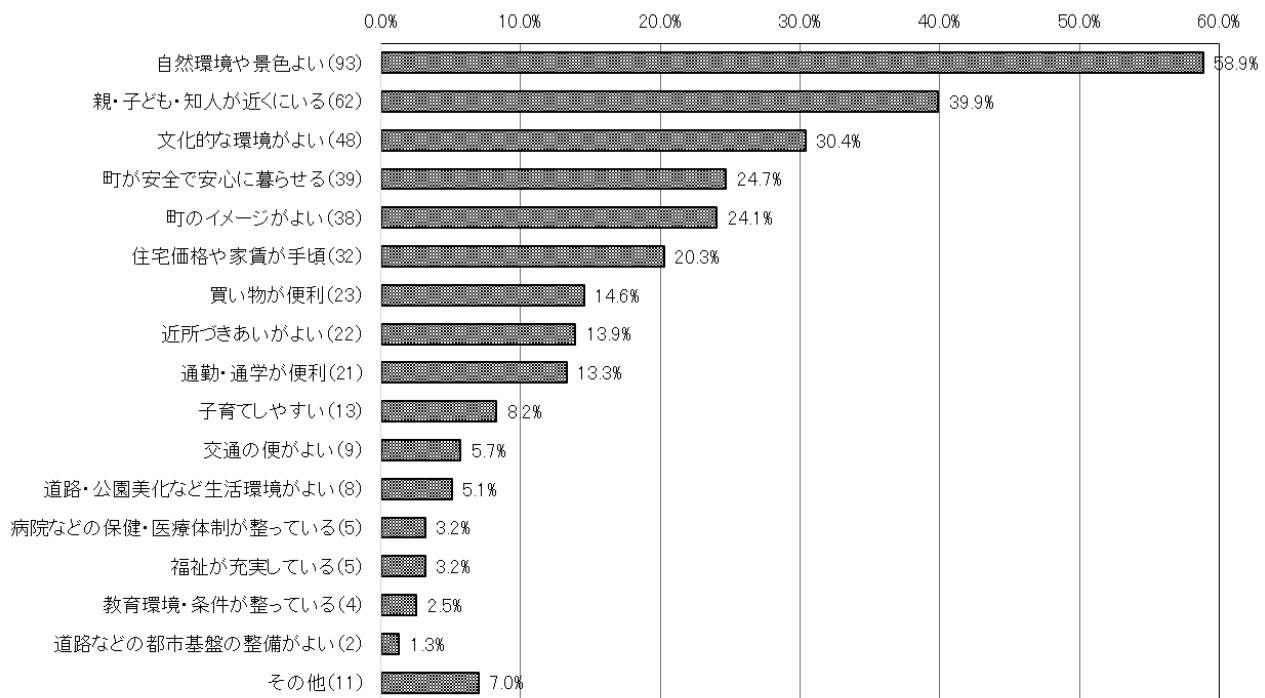
7 益子町の魅力・不満な点について

本町の魅力について、「自然環境や景色よい」が最も多く、以下、「親・子ども・知人が近くにいる」「文化的な環境がよい」「町が安全で安心に暮らせる」「町のイメージがよい」と続き、上位 5 つは転出者アンケートと同じ結果となりました。また、町外に住んだことのある方の視点として、「住宅価格や家賃が手頃」という項目が 6 番目に多い回答となりました。

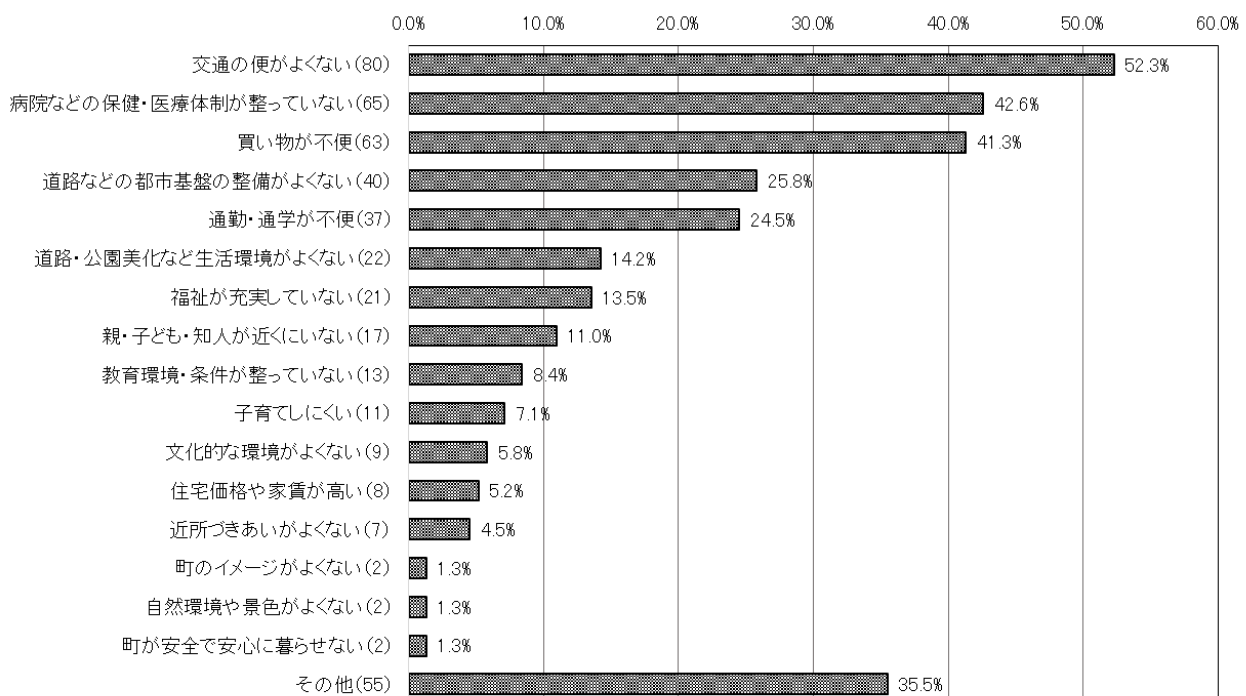
一方、本町の不満な点については、「交通の便がよいくない」が最も多く、以下、「病院などの保健・医療体制が整っていない」「買い物が不便」「道路などの都市基盤の整備がよいくない」「通勤・通学が不便」と続き、転出者アンケートでも同じ項目が上位 5 つを占めました。

なお、自由記述については、巻末をご覧ください。

図表 46 益子町の魅力（問 10 回答実数 158 複数回答）



図表 47 益子町の不満な点（問 11 回答実数 155 複数回答）



移住定住促進住まいづくり奨励金 アンケート

1 回答者の属性について

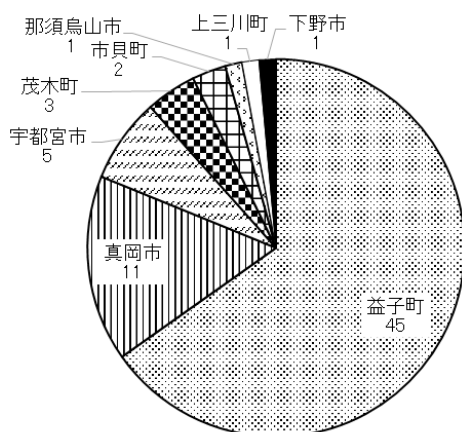
本アンケートは、平成 28～29 年度の本奨励金交付対象者 69 人すべてからの回答となっています。本報告書では、町内での転居による対象者を「町内者」、町外からの転入による対象者を「町外者」としています。

回答者の引っ越し前の居住地は、本町(65.2% | 45 件)が最も多い結果となりました。

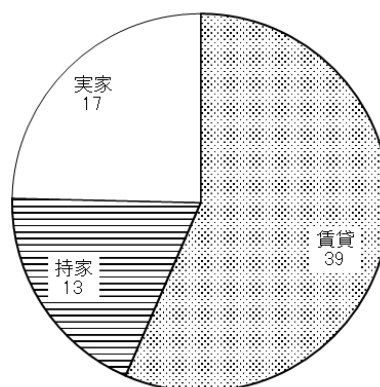
6 歳以下の子がいる世帯は 46 件でしたが、7 歳から 10 代の子がいる世帯は 4 件(町内者 3 件 | 町外者 1 件)となっていることから、子どもの就学前に住宅を取得する傾向があるといえます。

また、回答者で最も多い職業は、会社員(78.3% | 54 件)となっています。

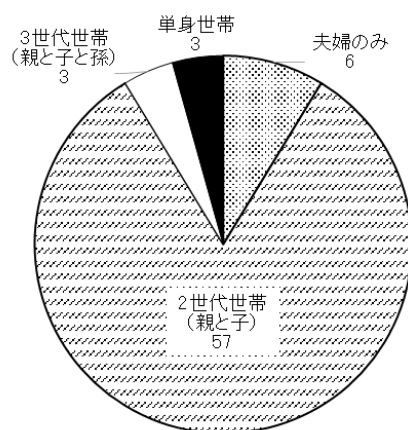
図表 48 引っ越し前の居住地（問 1）



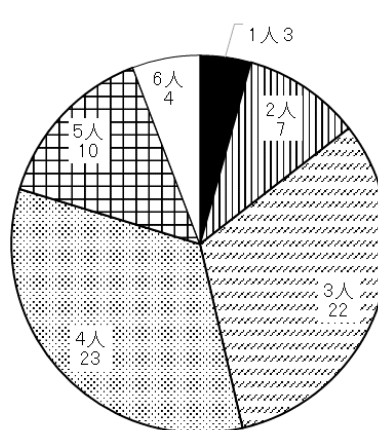
図表 49 引っ越し前の住まい（問 1）



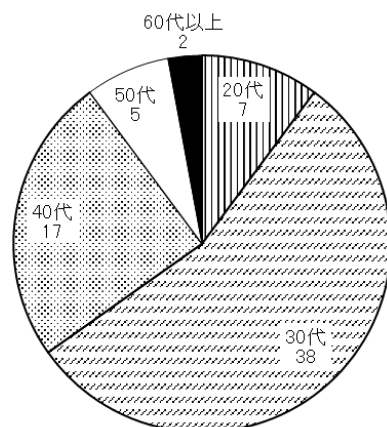
図表 50 世帯構成（問 2）



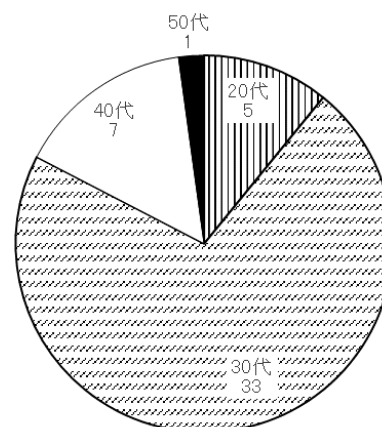
図表 51 世帯人数（問 2）



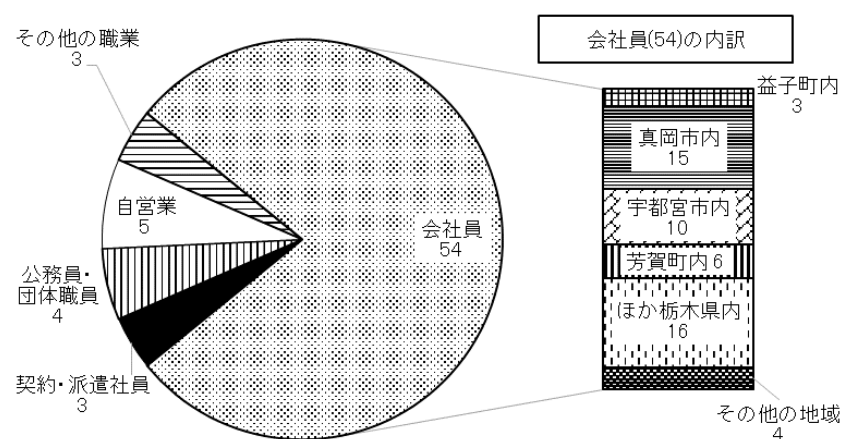
図表 52 回答者の世代（問 2）



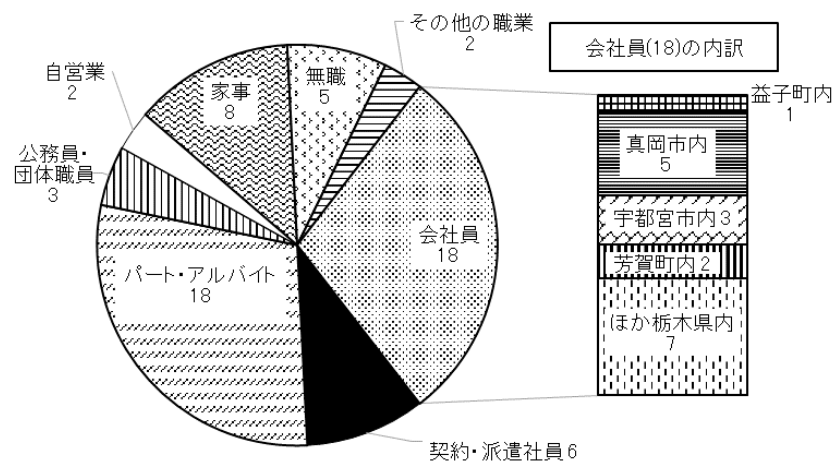
図表 53 6歳以下の子がいる世帯（問 2 該当 46）



図表 54 回答者の職業（問 3）



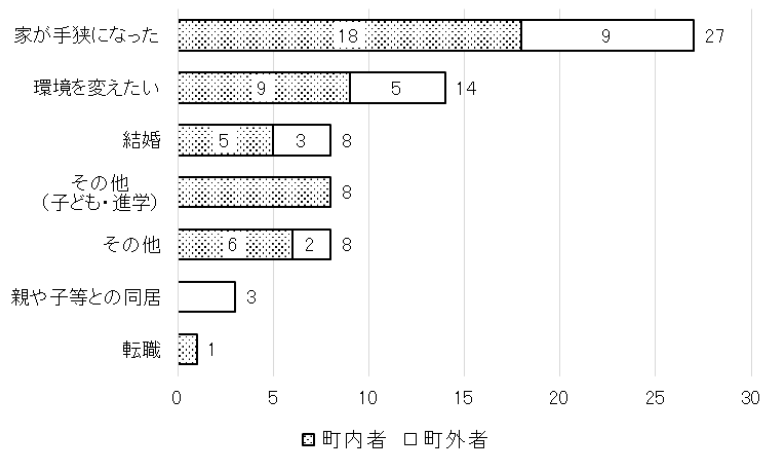
図表 55 配偶者の職業（問 4 該当 62）



2 新しい住まいを取得するきっかけについて

新しい住まいを取得するきっかけは、「家が手狭になった」が最も多い結果となり(町内者 | 18 件、町外者 | 9 件)、「その他」の回答における「子ども・進学」に関する回答と合わせると 50.7%(35 件)が子どもの成長によって新しい住宅を取得している結果となりました。

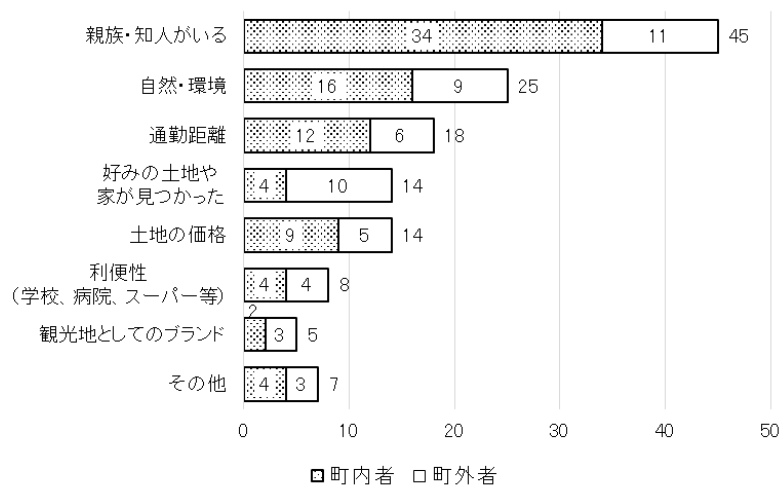
図表 56 新しい住まいの取得のきっかけ (問 5)



3 益子町に住まいを求めた決め手について

本町に住まいを求めた決め手は、町内者は「親族・知人がいる」「自然・環境」「通勤距離」で、町外者は「親族・知人がいる」「好みの土地が見つかった」「自然・環境」となっています。

図表 57 益子町に住まいを求めた決め手 (問 6 複数回答)

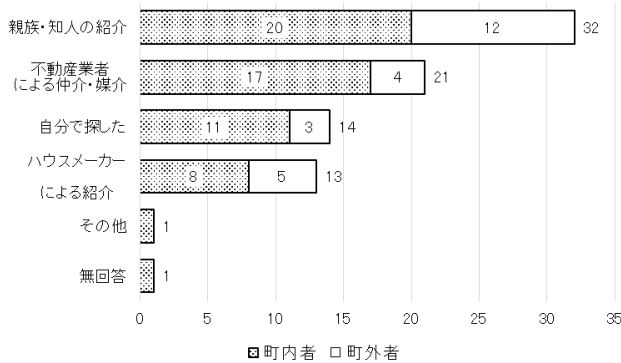


4 住まいの形態について

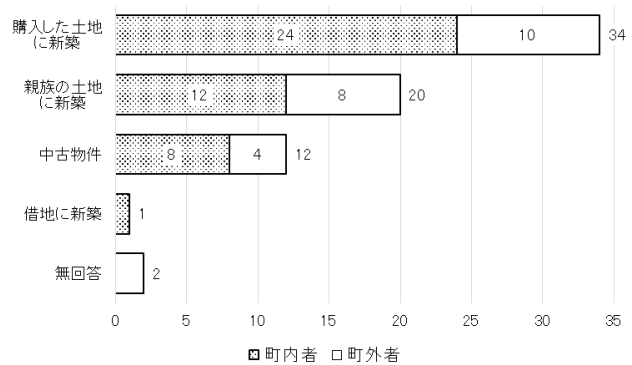
土地の探し方について、町内者・町外者とも「親族・知人の紹介」が最も多い結果となりました。町外者では、他の選択肢を選んだ回答は少なく、土地勘のない町外者には土地探しの選択肢が乏しい現状ともいえます。

新しい住まいの形態については、町内者・町外者とも「購入した土地に新築」が最も多い回答となりました。

図表 58 土地の探し方（問7 複数回答）



図表 59 新しい住まいの形態（問8）

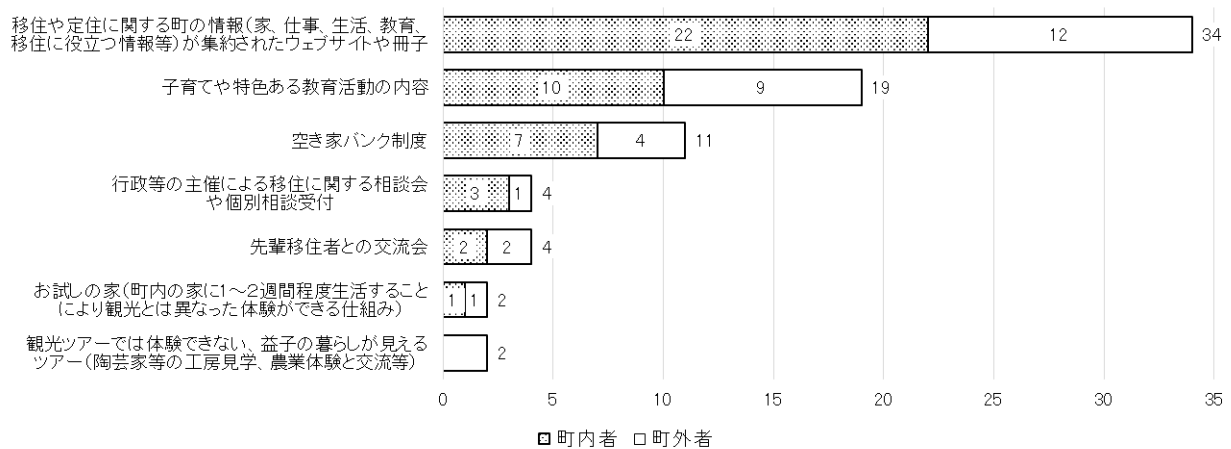


5 移住・定住前に知りたかった情報・活用したかった事業について

移住・定住に関する取組で回答者が最も興味を示したものは、移住・定住関連情報媒体に関するものとなりました。

「お試しの家」「益子の暮らしが見えるツアー」の体験型事業について、今回のアンケートでは町内者・町外者ともに関心が薄かった結果となっています。

図表 60 知りたかった情報・活用したかった事業（問9 回答実数 45 複数回答）



自由記述

各アンケートの自由記述については、原則原文のまま掲載します。ただし、次の場合は修正等を行いました。

- (1)誤字と思われるもの。
- (2)短文で同旨の回答(自然がいい、自然が素晴らしい等)は、1 つにまとめました。
- (3)特定の団体等に対する箇所は、「●●」としました。

転出者アンケート

問 7 益子町にお住まいになって、どのような点に魅力をお感じになりましたか。

- 地域のみなさんがやさしく親切(50 代)
- 地元なので(30 代)
- 住んでいる方が面白い方が多いように感じました(不明)
- 生まれ育ったところだったので(30 代)
- もともと生まれ育った街なので無条件で好きな場所(30 代)
- 益子焼など(23～29 歳)
- 若い世代でも楽しめる個人店が多い。知名度が高い(30 代)
- かわいいカフェやパン屋さんがある(40 代)
- 魅力は、SL が走っている(18～22 歳)
- カフェ・陶器市がある(23～29 歳)
- 出産手当が 3 万円もらえたこと(40 代)
- 小児科・耳鼻科が近くにほしかった(30 代)

問 8 益子町にお住まいになって、ご不満だった点として、次のどれが当てはまりますか。

- 希望の仕事がないため(23～29 歳)
- 歩行者が通れるようにしてほしい。そうすると事故が少なくなる(18～22 歳)
- JR がいないため、東京などに行くとき不便。車道から電柱が出ていて危ない(23～29 歳)
- 歩道が狭く通学が危なかった。大きい店がなく不便。つまらない(23～29 歳)
- ほとんど歩道がないところがある。あっても狭い(不明)
- 下水処理(60 代以上)
- 飲食店が少ない、病院が少ない、国道 123 号線がうるさい、畑がくさい(30 代)
- 家賃 5 万円は高い。イノシシ・野犬が出る。多田羅・七井には歩道がなく、道が狭いので怖い(18～22 歳)
- 部屋数が少ない賃貸しかない(40 代)
- ファッションなどの商業施設がない(50 代)
- 夜中でもさらっと外食できる場所がない。高い店しかない(30 代)
- スーパー、ドラッグストアばかりが多い(23～29 歳)
- コンビニもつぶれてるイメージなので、欲しい。全体的に光がない(18～22 歳)
- 実家の近くが街灯が少なく暗かった。コンビニまで遠い(23～29 歳)

- 街灯が少なくて暗くて危ない(23～29 歳)
- 益子焼をしている方の税金がかからないことが納得できない。不平等(30 代)
- 住民税が高い(23～29 歳)
- 地域の集金が多すぎる。集まりを断ると嫌われる(仕事をしていたので毎回集まりに出れるわけない)(30 代)
- 鉄道の運賃が高すぎる(18～22 歳)
- 七井駅に不審者のような人がいる様子で、少し怖い思いをした(23～29 歳)
- 七井駅周辺の騒音(バイクなど)(30 代)
- 人間関係不信(30 代)
- 売りの益子焼が弱い(23～29 歳)
- 益子に住んでいて不満に感じたことは特になかったです(23～29 歳)
- 特にございませんが、ここは通信環境(携帯電話)が弱いことには困りました(30 代)
- 特になし。不便さも魅力です。環境が都市に比べて整っていないのは、仕方ないと思っている(40 代)
- 特に感じ、思わなかった(18～22 歳)

問 10 もし、機会があれば、益子町にもう一度住みたいと思われませんか。

- 長男なので、いずれは、と思っている(18～22 歳)
- 益子が嫌いなわけではないです(18～22 歳)
- 転入されてくる方をあたたかく迎えるおもてなしの心が大事なのではないかと思います。都市と比べれば交通、買い物、文化施設などの違いはありますが、自然豊かな益子ならではの良さもあります。足りないものを埋めるより、今あるものをいかし、個人→町全体という考え方が広がっていけばよいのかもしれませんが。おしゃれなカフェがあつていいね、益子焼好きでよく買いに行くよとか話してくれる人も良くいます。そんな他の市・町にはない魅力をもっている益子ですから、ぜひ住みたいと思ってもらえる町になると思います(50 代)
- 町民が働く場所が少ない。若い人は町外に働き場所を求める。ますます人口減少が必至。観光だけでは町民は豊かになれない(60 代以上)
- 仕事がない(23～29 歳)
- 財政を一部にかたよって使うのではなく(観光のところばかり)、町民一人一人が満足できるような使い方をしてほしい。福祉や医療、子育てなど(23～29 歳)
- 子育て支援の充実、近所に子供がいないこと、教育環境の充実(30 代)
- 子どもの登下校時の安全確保が心配です(30 代)
- 子どもたちの教育の充実。大規模分譲地など多くの町民を受け入れる体制(市貝町でいうところのみどりの森)(30 代)
- 子育て手当の充実。産婦人科・小児科がほしい。ファミレスがほしい(18～22 歳)
- 産婦人科があるといいです(23～29 歳)
- 福利厚生が充実(30 代)
- どうしても医者が少ないので、子ども・老人世帯が住みにくい。改善されれば、住んでみたい気持ちも増えます(23～29 歳)
- 益子で住んでいた場所は、道路整備が非常に悪く、町や自治会に話をしても一方の方だけの意見を聞いて改善してくれなかったのが、道路がよくなれば住みたい(50 代)
- 街灯が少なく夜道を歩くのが不安な点、図書館等文化施設の整備が不十分な点、道が狭く歩道が満足に整備されていない点(18～22 歳)
- 税金の面、通学路の電灯や安全性の点、町(地区)の警察官がいつ行ってもいない点(30 代)
- 場所による。市貝より×、益子・真岡より△。歩道の整備・縁石などの反射板(視線誘導マーカーなど)視認性が高いもの。草木の整備など(18～22 歳)
- 下水処理(60 代以上)
- 道路環境:歩道や自転車専用を全道路に開通させてほしい。子どもが通れる道が少なく感じる。騒音:バイクの騒音がひどい。木曜の夜、ツインリンクもてぎのイベント等でまちなかを抜けていく車両が迷惑だった。公園が非常に少ない。いなかには自然があることが有利なのに、それを活かしていない。中途半端な都会人気取りな人がいる

のが悲しい。役場の人事に疑問。もめごとがあると上司が率先して逃げる。上司は部下の責任を取るためいるのだ。無駄な税金(23～29 歳)

- スタンドがあればよい(30 代)
- コンビニも少なくなり、明るさが少ないとたまに帰る時感じた。24 時間のものが何かあった方がよい。あと、薬局同士が近くにできているのはなぜか。なら違うものを作るとかは(18～22 歳)
- 夜やっているスーパーがない。コンビニも少なく、総合病院も整っていないため、若いうちはよいが、老後・独居の人には不安・不便(40 代)
- 買い物が便利になればよいと思います(30 代)
- ファミレスなどの飲食店。コストコがある。産婦人科・整形外科などの病院。隣町に行かなくても益子町で済むような生活が理想です(23～29 歳)
- 百均・ファミレスがほしい(23～29 歳)
- 買い物・通勤・交通教育環境・都市基盤・病院等の問題が解消されれば住みたい(18～22 歳)
- お店が増えたりしたら。特に 100 円ショップがほしい(18～22 歳)
- 外食・買い物の不便さ(23～29 歳)
- 買い物、教育、交通の便(23～29 歳)
- 鉄道以外の電車があるとよい(JR とつながるような)(23～29 歳)
- 交通の便が良くなれば。車がないとしんどいです(18～22 歳)
- LRT が益子まで通れば(交通の便がよりよくなれば)(30 代)
- 交通の便(30 代)
- 東京方面への遠距離通勤・通学手当(町が 3 割負担)(18～22 歳)
- 埴地区はよくなかったけれど、城内坂付近はとてもよかったので、次に住むなら城内坂付近に住みたい(30 代)
- 交通の便や、衣類のお店などができれば。10 年前より、役場の対応はよくなったので、そのまま維持してください。よくなってくれてありがとうございます(40 代)
- 自治会費やよくわからない集金や集まりが多く、将来的にとっても面倒に感じた。特に、高齢者の昔ながらの保守的なところがだめに感じた。時代に合わせた柔軟性がないと文化的な環境(陶芸)だけでは過疎化が進む。●●のような過疎化にならないように益子町の将来を祈りたい(30 代)
- もう少し税金を減らしていただきたい(15～17 歳)
- また引越しかどうかかわからないので(不明)
- 地元に帰れたので住む予定はない(23～29 歳)
- 図書館がきれいになること(23～29 歳)
- 家を新築してしまったので。ただ、第一候補は益子町で探していました。希望するような環境の土地が見つからず、市貝町にしましたが、益子町は住む環境としてはよかったです(23～29 歳)
- 陶芸家を目指したり、窯が使いたいなどの益子ならではの目的があればいいと思うが、普通に住むにはいろいろ不便だし、家賃も高かったです。しかし、老後などにはいいと思います。益子は好きです(23～29 歳)

転入者アンケート

問 10 益子町にお住まいになって、どのような点に魅力をお感じになりましたか。

- 土地価格が手ごろ(30 代)
- 美術が好きだが、町内に多数ギャラリーがあり毎月展示がみられるところ。「ましこのね」の展示一覧がとても便利でした。道の駅ましこのイベントや商品等地元の資源を生かし良さを外部に発信している(23～29 歳)
- 陶器を主とする観光(60 代以上)
- 焼き物をするのに適している(60 代以上)
- 自然と街環境のバランスがいい(50 代)
- パン屋・カフェなどこだわったお店が多いこと(30 代)

- カフェが多い(30 代)
- 益子焼(18～22 歳)
- 人が面白い(30 代)
- 地元の友人が多いから(40 代)
- ほとんど魅力を感じない(30 代)

問 11 益子町にお住まいになって、ご不満だった点として、次のどれが当てはまりますか。

- 北公園はきれいだと思います(30 代)
- 益子町はとてもすてきな町です(18～22 歳)
- 求人が少ない(23～29 歳)
- 雇用が少ない。町は商業を盛り上げようとしているのか。これからの益子は益子焼だけでは残っていけない。益子町内での雇用や商業の発展があれば住民も増えると思う(23～29 歳)
- 町内に働く環境がない(60 代以上)
- 小学生の医療費申請が大変です(30 代)
- 保育料が真岡市に比べて高い(30 代)
- 真岡市だけでなく益子町にもおむつ割引券(赤ちゃん用～乳幼児)があってほしい(23～29 歳)
- もっと子育て関係(おむつ無料券とか子ども医療)をよくしてほしい(30 代)
- 介護認定などもう少し弱者の視点に立って対応してほしい(40 代)
- 危機的集落のため将来が不安。空き家が多く娘が犯罪に合わないか不安(40 代)
- 自治会活動が負担になる。無意味に感じる仕事が多くやりがいがない。(23～29 歳)
- 大羽地区からサヤド方面へ下る坂(須田ヶ池横)の道を整備してほしい。学生がかわいそう。危険(30 代)
- 下水道が整備されていない(30 代)
- 下水道が通っていないので非常に困る(60 代以上)
- 交通安全面が特に悪い。運転マナーなどを含む。事故が起きても仕方ない環境。不満な点を聞いているが、改善する気はそもそもないのでは(30 代)
- 子どもの通学路が危険。つくば益子線(丈夫卵付近)のカーブをどうにかしてほしい(30 代)
- 七井駅から国道 1213 号線の間と国道 123 号線自体が街灯がなく真っ暗。暗い中を高校生が歩いていてかわいそうです。自分の子供が大きくなったら不安です(40 代)
- 東田井のメインの道路のマンホールの部分が盛り上がっていて車で走るとはねて走りにくい。一度見に来てほしい(30 代)
- 歩行者が歩くための環境が整っていない(40 代)
- 町の中心部は夜明るいでしょうが、外れると学校が近くにあっても暗すぎ。下水道の整備が遅れている(60 代以上)
- 各家庭で生活ごみ等燃やし過ぎ。火事かと思うし、洗濯物がだめになる(年齢不明)
- 近所でごみを燃やしている人がたくさんいる(30 代)
- ごみの出し方・粗大ごみの回収が真岡より不便(30 代)
- ごみ袋が有料(40 代)
- 自宅の隣人を含め、プラスチックごみを外でもやし、有害は煙とにおいを出す人が多い(60 代以上)
- 野焼きしている家が多い(30 代)
- 居酒屋の検討。星の宮の方にもスーパーがあると便利(23～29 歳)
- 飲食店の閉店が早い(18～22 歳)
- 手軽に利用できる温泉がほしい(40 代)
- 陶器市で道路が込みすぎて生活に支障が出る(23～29 代)
- 益子町が強みとする観光に力を入れてほしい(60 代以上)
- 大きな図書館があるとよいと感じた(23～29 歳)
- 図書館がない(60 代以上)
- 図書館がない。スーパーやドラッグストアが町の外観を損ねている(23～29 歳)

- 図書館がない。小さな図書室はあるが(50 代)
- 図書館がほしい(40 代)
- 図書館が益子にもあればいいと思います(23～29 歳)
- 皮膚科・耳鼻科・眼科がない。図書館がない(60 代以上)
- 歩いて行ける公園がない。小学生の医療費の申請が手間がかかる。ゴミ袋が高い(30 代)
- 公園が充実しているが草などの整備が不満を感じる。バイクなどの暴走車が多い気がする(40 代)
- 一部の地域のイメージは良いが、周りがあっていない(40 代)
- 車の運転に自信がないので老後が不安。生活できるだけの仕事を作れるか不安(30 代)
- 原発汚染。水圧が弱い。平成館の活用方法(ホテルは失敗すると思う)(30 代)
- ごみ袋が高く、子育て中の身としては分別が大変(特に生ごみ)。真岡や茂木のようにおむつの助成があったらよいと思います(23～29 歳)
- 町指定のごみ袋が高い。少子化の問題を取上げているのに益子町に産婦人科がない(30 代)
- 杉林が多すぎ、手入れされていないため景観を損ねている。子ども食堂がない(40 代)
- 銭のにおいがしない(60 代以上)
- 住民税が高い(23～29 歳)
- 町民税が高い(30 代)
- 町民税が高すぎる。コスモス畑とかひまわりすごく中途半端。必要な感じはしない(30 代)
- 町有財産の維持管理がよくない(40 代)
- 都市への電車でのアクセスが不便。やきものライナーが便利ですが(23～29 歳)
- 別にありません(50 代)
- まだわからない(30 代)

移住定住促進住まいづくり奨励金アンケート

問 10 その他、益子町に移住、定住する方を増やすための取組として「こんなことあったらいいな」と思うことがありましたらご記入ください。

- 子育てに対する補助金。二人目から保育園半額にしてください(20 代)
- とある所で「山のようにちえん」があるのですが、子供達が自分たちで水をくんだり、火をおこしたり、ご飯で作って食べたり、山で遊んだり自然と向き合い何か体験できる場があればいいなと思いました(30 代)
- 実際の話ですが、子供の予防接種(任意)の助成期間が近隣の町よりも短かったので自費で受けることになり残念でした。同じくらいの期間を設けて頂きたいです。
- 子育て支援をもっと充実させたほうが良いと思います(30 代)
- 子育て世代としての意見ですが、移住・定住の決め手はあらゆる「手当の厚さ」になると思います。具体的には①保育料・教育費の補助や無償化②学用品、制服などの支給③交通費の補助 などがあると他の市町村に比べて育てやすいと感じると思います。知り合いで、補助や手当の観点から隣の真岡市へ転居したことなどを聞くと、やはり益子町でもその点に力を入れていただけると逆に転入者の増加が見込めるのではと考えています(30 代)
- 出産・子育ては真岡市の方が充実していると多数の方から聞きました。空き家情報をもっとわかりやすく、かつ起業向けリフォーム物件や集合住宅地等と移住者が増えるのでは…。城内坂近くの里山沿いに造園して自然を見ながらカフェがあったり工房があったり(30 代)
- 益子は真岡と比べると子育てに対する支援や福祉など全然手厚くなく、はっきり言って親が益子にいなかったら住みたくありません。観光も大事ですがもう少し住んでいる人たちのことを考えてほしいです。定住を増やすには益子の自然豊かな所もよいですが、若い世帯を増やすには子育てや福祉にもっと力を入れるべきです。お金がない町なりにできることがあるはず(30 代)

- 子育て支援関係を増やしてほしい。保育園や幼稚園、小児科、ベビー用品店。少子化だから子供を出産するたびにお祝い金や支援が増えれば子供を産む人も増えると思う。保育料の値下げ。もう少し食事するところでファミレスのようなものを増やしてほしい(30代)
- 子供手当、保育料無償化、カジノ(30代)
- こども医療費の助成制度を中3まで伸ばせば子どものいる家庭は助かると思う。もっと商業を発展させる(30代)
- 子育て中なので、子育て世代が嬉しいものが良いです。例えば、オムツ券やマッシー増額など。いろいろ取組はあると思いますが、何にしても、それらをもっと知ってもらうようにアピールしないとですね。今回の奨励金も調べないと分かりませんでした(30代)
- 公共交通機関の充実、子供クリニックの充実(40代)
- 教育の充実(40代)
- 安定した雇用先の創生と益子で暮らすプライド作り。広範囲でのお買い物マップの作成…益子町の情報だけでなく、益子町から車で行ける範囲のお店情報を記載したマップがあれば利便性もアピールできるのではないのでしょうか。(益子に住んで3年ほどイオン水戸内原店の存在に気付かずに過ごしていたので笑) 例:イオン水戸内原店、イオン笠間店、大洗水族館、大洗海鮮市場、コストコつくば店、ジョイフル本田インターパーク、パルコ、東武百貨店、その他子どもが喜ぶスポットなど(30代)
- 飲食店などもっとあればと思います(50代)
- 生活する上でのコンビニ、商店の拡充が必要。若い人たちが不便を感じない方が良いと思います(60代以上)
- 町にある施設を利用するときにおむつ券のようなサービスがあればいいと思います(温泉、ホテル等)(50代)
- 真岡工業団地が通勤として最適なため、企業紙や工業紙への土地購入や益子町のアピールを売り込んでみてはいいかかと思っています。多くの転勤者は転勤4年目ごろから小山、石橋、自治医大、雀宮などで土地を探している。益子は暮らすよりも観光のイメージがあり、田舎でも利便性が良いアピールをすると良いのでは。益子は携帯電話の電波やネット環境が悪いイメージを持たれている(40代)
- 「薪ストーブのある暮らしツアー」第2弾!「テレビのない暮らしツアー」難視聴地域だけではない、益子にはテレビのない暮らしをしている人が意外に多く、その理由などからさらに深い益子の暮らしが垣間見れるのでは。娯楽的要素テレビがないのでこうやって時間を過ごしている。情報収集的要素、テレビがないのでこのような情報をこうやって入手している。良いところは家族の会話が増えた、など。あるあるはサッカーワールドカップの試合をテレビのある家に集まってみんなで見る(30代)
- お祭りやイベントをまとめた冊子の作成。益子町在住の職業の種類や割合の周知、益子に住むとこんないいことがある、お得なことがあることをまとめて配布。実際既に住んでいる私は結構何も知りません。(40代)
- 益子に移住する人たちの中には、古民家を求めている人が多く感じます。高齢者など、空き家になっているところも多くあると思いますが、面倒で金にも困っていないから売らないという話も聞きます。町で仲介のようなことをして頂くともっと戸建てに住みたいという人が住めると思います(30代)
- 道の駅に地元住民が利用したくなるようなビジネス展開を希望します。コンビニ、外食などの出店(50代)
- 町に図書館がないので、図書館があれば子育て世代には嬉しいと思う(30代)
- 下水道の早急な整備をすることによって多少、移住する人が増えると思います(30代)
- ジブリのラピュタでバザーがラッパで朝を迎える時の音楽を益子の朝の音楽にしたら面白いと思います(30代)

調査票

問1 益子町でのお住まい(大字)について【Oは1つだけ】

1 益子・城内坂・生田目地区	2 埴地区
3 上大羽・下大羽地区	4 七井・大沢・七井中央・北中地区
5 小宅・芦沼・大平地区	6 山本・大郷戸地区
7 長堤・上山・前沢・小泉・本沼・梅ヶ内・東田井地区	

問2 引っ越し先の住所について【該当する項目にOを囲むか、ご記入ください】

1 県内	① 宇都宮市	② 真岡市	③ その他()	市町
2 県外	()	都道府県()	市区町村	

問3 引っ越しされた方の内訳について【男女別、引っ越し日時点の年代別の人数を記入ください】

	未就学	小学生	中学生	15~17歳 (中学生)	18~22歳	23~29歳	30代	40代	50代	60代以上
男										
女										

問4 引っ越すこととなった最も大きなきっかけについて

【「引っ越しの理由」から1つにO、「その内容」に項目がある場合に当てはまるものにO】

引っ越しの理由	その内容
1 あなたの仕事の都合	就職 転職 退職
2 親族(祖/伯母・親・子など)の仕事の都合	進学 通学
3 あなたの学校の都合	都屋敷が足りない 賃貸契約更新
4 子どもの学校の都合	住宅購入価格が高い 家賃が高い
5 住宅の都合	通勤 交通 買い物 病院 治安
6 結婚	教育 子育て 通勤 日常生活 自然災害
7 生活環境のよいところ	親や子ども、その他の親族との同居・近居
8 親などの介護	10 その他()

問5 あなたが仕事(通学)をされている場合、勤務(通学)先はどちらですか

() 都道府県() 市区町村

問6 引っ越し前後のお住まいの形態について【それぞれOは1つだけ】

●引っ越し前	●引っ越し後
1 戸建(自身・親族が所有)	1 戸建(自身・親族が所有)
2 賃貸マンション・アパート・貸家	2 賃貸マンション・アパート・貸家
3 社宅・寮・下宿など	3 社宅・寮・下宿など
4 その他()	4 その他()

問7 益子町にお住まいになって、どのような点に魅力を感じようになりましたか【Oはいくつでも】

1 買い物が便利	2 通勤・通学が便利
3 交通の便がよい	4 住宅価格や家賃が手頃
5 親・子ども・知人が近くに	6 近所づきあいがよい
7 子育てしやすい	8 教育環境・条件が整っている
9 福祉が充実している	10 病院などの保健・医療体制が整っている
11 道路などの都市基盤の整備がよい	12 道路・公園美化など生活環境がよい
13 町が安全で安心に暮らせる	14 自然環境や景色がよい
15 文化的な環境がよい	16 町のイメージがよい
17 その他()	

問8 益子町にお住まいになって、ご不満だった点として、次のどれが当てはまりますか

【Oはいくつでも】

1 買い物が不便	2 通勤・通学が不便
3 交通の便がよい	4 住宅価格や家賃が高い
5 親・子ども・知人が近くに	6 近所づきあいがよい
7 子育てにくい	8 教育環境・条件が整っていない
9 福祉が充実していない	10 病院などの保健・医療体制が整っていない
11 道路などの都市基盤の整備がよい	12 道路・公園美化など生活環境がよい
13 町が安全で安心に暮らせる	14 自然環境や景色がよい
15 文化的な環境がよい	16 町のイメージがよい
17 その他()	

問9 益子町にお住まいになって、満足されましたか【Oは1つだけ】

1 満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかといえば不満足	4 不満足
------	--------------	---------------	-------

問10 もし、機会があれば、益子町にもう一度住みたいと思われますか【Oは1つだけ】

1 住みたい	2 住むつもりはない	3 わからない
4 次のことが改善されれば住みたい		

これでアンケートは終わります。ご協力ありがとうございました。
このアンケート調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
6月8日(金)までにポストに投函してください。

裏面に続きます

調査票

問1 益子町でのお住まい(大字)について【Oは1つだけ】

1 益子・城内坂・生田目地区	2 塚地区
3 上大羽・下大羽地区	4 七井・大沢・七井中央・北中地区
5 小宅・芦沼・大平地区	6 山本・大郷戸地区
7 長塚・上山・前沢・小泉・本沼・梅ヶ内・東田井地区	

問2 引っ越し前の住所について【該当する項目にOを囲むか、ご記入ください】

1 県内	① 宇都宮市	② 真岡市	③ その他()	市町
2 県外	()	都道府県()	市区町村	

問3 引っ越しされた方の内訳について【男女別、引っ越し日時点の年代別の人数を記入してください】

	未就学	小学生	中学生	15～17歳 (中学生相当)	18～22歳	23～29歳	30代	40代	50代	60代以上
男										
女										

問4 引っ越しすることとなった最も大きなきっかけについて

【「引っ越しの理由」から1つO、「その内容」に項目がある場合に当てはまるものにO】

	引っ越しの理由	その内容
1	あなたの仕事の都合	就職 転職 退職
2	親族(配偶者・親・子など)の仕事の都合	
3	あなたの学校の都合	進学 通学
4	子どもの学校の都合	部活数が足りない 賃貸契約更新
5	住宅の都合	住宅購入価格が安い 家賃が安い
6	結婚	
7	生活環境のよいところ	通勤 交通 買い物 病院 治安
8	親などの介護	教育 子育て 通学 日常生活 自然災害
9	親や子ども、その他の親族との同居・近居	
10	その他()	

問5 引っ越しするに当たって、他市町村への引っ越しも検討されましたか【Oは1つだけ】

1 検討した	2 検討しなかった
3 検討する余地がなかった(住宅などが益子町内、結婚で益子町内に住むことになったなど)	

裏面に続きます

問6 引っ越し前後のお住まいの形態について【それぞれOは1つだけ】

●引っ越し前	●引っ越し後
1 戸建(自身・親族が所有)	1 戸建(自身・親族が所有)
2 賃貸マンション・アパート・貸家	2 賃貸マンション・アパート・貸家
3 社宅・寮・下宿など	3 社宅・寮・下宿など
4 その他()	4 その他()

問7 あなたが仕事(通学)をされている場合、勤務(通学)場所はどちらですか

()	市町村
-----	-----

問8 これまでに益子町にお住まいになったことはありますか【Oは1つだけ】

1 ある	2 ない
------	------

問9 益子町に引っ越してくる前、生活情報(交通の便や買い物施設、教育・子育て環境、公共施設など)はどの程度ご存知でしたか【Oは1つだけ】

1 よく知っていた	2 ある程度知っていた
3 あまり知らなかった	4 ほとんど知らなかった

問10 益子町にお住まいになって、どのような点に魅力を感じていますが【Oはいくつでも】

1 買い物便利	2 通勤・通学が便利
3 交通の便がよい	4 住宅価格や家賃が手頃
5 親・子ども・知人が近くに	6 近所づきあいがよい
7 子育てしやすい	8 教育環境・条件が整っている
9 福祉が充実している	10 病院などの保健・医療体制が整っている
11 道路などの都市基盤の整備がよい	12 道路・公園美化など生活環境がよい
13 町が安全で安心に暮らせる	14 自然環境や景色がよい
15 文化的な環境がよい	16 町のイメージがよい
17 その他()	

問11 益子町にお住まいになって、ご不満な点として、次のどれが当てはまりますか【Oはいくつでも】

1 買い物不便	2 通勤・通学が不便
3 交通の便がよい	4 住宅価格や家賃が高い
5 親・子ども・知人が近くにない	6 近所づきあいがよくない
7 子育てにくい	8 教育環境・条件が整っていない
9 福祉が充実していない	10 病院などの保健・医療体制が整っていない
11 道路などの都市基盤の整備がよくない	12 道路・公園美化など生活環境がよくない
13 町が安全で安心に暮らせない	14 自然環境や景色がよくない
15 文化的な環境がよくない	16 町のイメージがよくない
17 その他()	

これでアンケートは終わります。ご協力ありがとうございました。
このアンケート調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
6月8日(金)までにポストに投函してください。

益子町に新しい住まいを取得された皆さまへ

～移住定住に関するアンケートご協力をお願いします～

本アンケートは、益子町に新しい住まいを取得された理由などについてお聞きし、今後の移住定住施策の参考資料として活用を図るためのものです。趣旨をご理解いただき、アンケートへの協力をお願いいたします。なお、お答えいただいた内容については、他の目的で使用することはありません。

※ 1世帯につき1枚記載してください。

Q1. 「以前の住まい」について、該当するものを○で囲んでください。(世帯員で異なる場合はそれぞれを○で囲んでください)

所在地	1. 益子町内	2. 栃木県内 (市・町)	3. 栃木県外 (市・町)	市・町
住まい	1. 賃貸 (アパート・戸建て)	2. 持ち家	3. 実家	4. その他 ()

Q2. 世帯構成・人数及び性別・年代について教えてください。

構成: 1. 夫婦のみ 2. 2世代世帯(親と子) 3. 3世代世帯(親と子と孫)

4. 単身世帯 5. その他 ()

人数: 人 (ご本人含む)

		【内訳】 (人)						
男	性	5歳以下	7歳～10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
女								

Q3. 世帯主の職業について、該当するものを○で囲んでください。

1. 会社員	【 清原工業団地 真岡工業団地 芳賀工業団地 その他地区 (市・町) 】	
2. 契約・派遣社員	3. パート・アルバイト	4. 公務員・団体職員
5. 自営業 (小売・製造業・サービス業など)	6. 農林業	7. 家事
8. 無職	9. その他 ()	

Q4. 配偶者がいる場合、配偶者の職業について、該当するものを○で囲んでください。

1. 会社員	【 清原工業団地 真岡工業団地 芳賀工業団地 その他地区 (市・町) 】	
2. 契約・派遣社員	3. パート・アルバイト	4. 公務員・団体職員
5. 自営業 (小売・製造業・サービス業など)	6. 農林業	7. 家事
8. 無職	9. その他 ()	

Q5. 新しい住まいを取得しようと思っただけにけについて、該当するものを○で囲んでください。

1. 結婚	2. 家が空になった	3. 転職	4. 親や子等との同居	5. 環境を変えたい
6. その他 ()				

○裏面に続く

Q6. 益子町に住むこととした決め手について、該当するものを○で囲んでください。

1. 通勤距離	2. 土地の価格	3. 利便性 (学校、病院、スーパー等)
4. 親族・知人がいる	5. 好みの土地や家が見つかった	6. 観光地としてのブランド
7. 自然・環境	8. その他 ()	

Q7. 土地を求めるために活用した方法について、該当するものを○で囲んでください。

1. 不動産業者による仲介・媒介	2. ハウスメーカーによる紹介	3. 親族・知人の紹介
4. 自分で探した	5. その他 ()	

Q8. 新しい住まいについて、該当するものを○で囲んでください。

1. 購入した土地に新築 (ハウスメーカー・近隣の工務店)	2. 借地に新築
3. 親族の土地に新築 (ハウスメーカー・近隣の工務店)	4. 中古物件

Q9. 益子町に住む前に知りたかった、活用したかったと思う事業について、該当するものを○で囲んでください。

1. 空き家バンク制度	2. 移住や定住に関する町の情報 (家、仕事、生活、教育、移住に役立つ情報等) が集約されたウェブサイトや冊子
3. 子育てや特色ある教育活動の内容	4. 先輩移住者との交流会
5. 観光ツアーでは体験できない、益子の暮らしが見えるツアー (陶芸家等の工房見学、農業体験と交流等)	6. お試しの家 (町内の家に1～2週間滞在生活することにより観光とは異なった体験ができる仕組み)
7. 行政等の主催による移住に関する相談会や個別相談受付	

Q10. その他、益子町に移住、定住する方を増やすための取組として「こんなことあったらいいな」と思うことがありましたらご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力、ありがとうございました。

— このアンケートに関するお問い合わせ先 —

益子町企画課(地方創生担当) TEL0285-72-8828 平日 8:30～17:15